

地方教育行政の組織及び運営に関する
法律第26条第1項の規定に基づく

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価

(令和3年度対象)

令和4年9月
流山市教育委員会

目 次

1. 流山市教育振興基本計画	1
2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価について	2
(1) 点検・評価の対象	
(2) 点検・評価の方法	
(3) 評価の区分	
3. 流山市一般会計歳出予算と流山市教育委員会歳出予算	3
4. 点検・評価結果	
I 生涯学習	
I-1 多様な生涯学習機会の充実	4
I-2 生涯学習の環境整備	13
II 文化芸術・歴史	
II-1 市民主体の文化芸術活動の充実	20
II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実	24
II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用	29
III スポーツ	
III-1 スポーツ活動の促進	35
III-2 スポーツ環境の整備	41
IV 子ども・子育て	
IV-1 学童クラブの充実	44
IV-2 青少年の健全育成の促進	46
V 学校教育	
V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実	53
V-2 教育環境の整備	78
V-3 児童生徒の安全確保と健康増進	86
5. 学識経験者の意見	98

1. 流山市教育振興基本計画

流山市教育委員会では、国や千葉県教育振興基本計画をもとに、流山市の総合計画に則り、平成27年から平成31年までを第1期とする「流山市教育振興基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定した。本計画は、中期的な視野に立って、学校教育、生涯学習の各分野における基本的な理念や現状と課題等を明らかにして、施策を定め、より充実した教育を推進しようとするものであった。

第2期基本計画については、令和2年度から令和6年度を期間とし、第1期基本計画の評価をふまえ、児童生徒の増加、学校規模の拡大、社会の変化に対応した学習指導要領の改訂等に対応しながらよりよい教育の在り方を検討した。

これからの社会を担う子ども達のために学校・家庭・地域、そして行政が互いに連携・協力し、流山市の教育が推進することを目的とし、併せて、市民が心身ともに充実した人生を送るために、自らの意思で生涯にわたって学習に取り組む、自己を高める生涯学習を推進することを目的とするもの。

基本計画の基本理念

I 学校教育【学びに向かう力と自立する子どもを育む】

流山市の学校教育においては、「生きる力」を育むという理念を踏まえ、児童生徒一人一人が生き生きと学べる豊かな教育活動を実践する。そして、子どもたちの可能性を引き出す教育の実現を目指していく。また、流山市の子どもたちが自信を持ち、いろいろなことに挑戦し、未来に活躍できる「自立・自律」した子どもが育つよう、流山の教育を推進する。

II 生涯学習【豊かな人生と文化芸術を創造するまちづくり】

生涯学習においては、豊かな人生につながる生涯学習の推進と文化芸術の醸成・歴史の継承、スポーツの振興を目指して、市民の学習要求に応える機会と場を提供していく。そして、地域の環境づくりとともに、文化芸術・歴史・スポーツに親しむ機会の創造のために、事業を推進する。

2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うことが義務付けられており、その際、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされている。

本市教育委員会においてもこの規定にもとづいて点検・評価を行い、報告書をまとめるとともに公表する。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(1) 点検・評価の対象

令和3年度の流山市教育委員会の主要事業を点検・評価の対象とする。

(2) 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、現状や背景を踏まえ、施策・事業の目標に対する実績を明らかにし、自己点検・自己評価を行う。また、法に基づき、点検評価の客観性を確保するため、学識経験を有する外部の方から御意見をいただき、これらをもとに、結果を取りまとめて議会に提出するとともに、公開する。

(3) 評価の区分(目標の達成率)

A: 100% B: 99%~71% C: 70%~51%

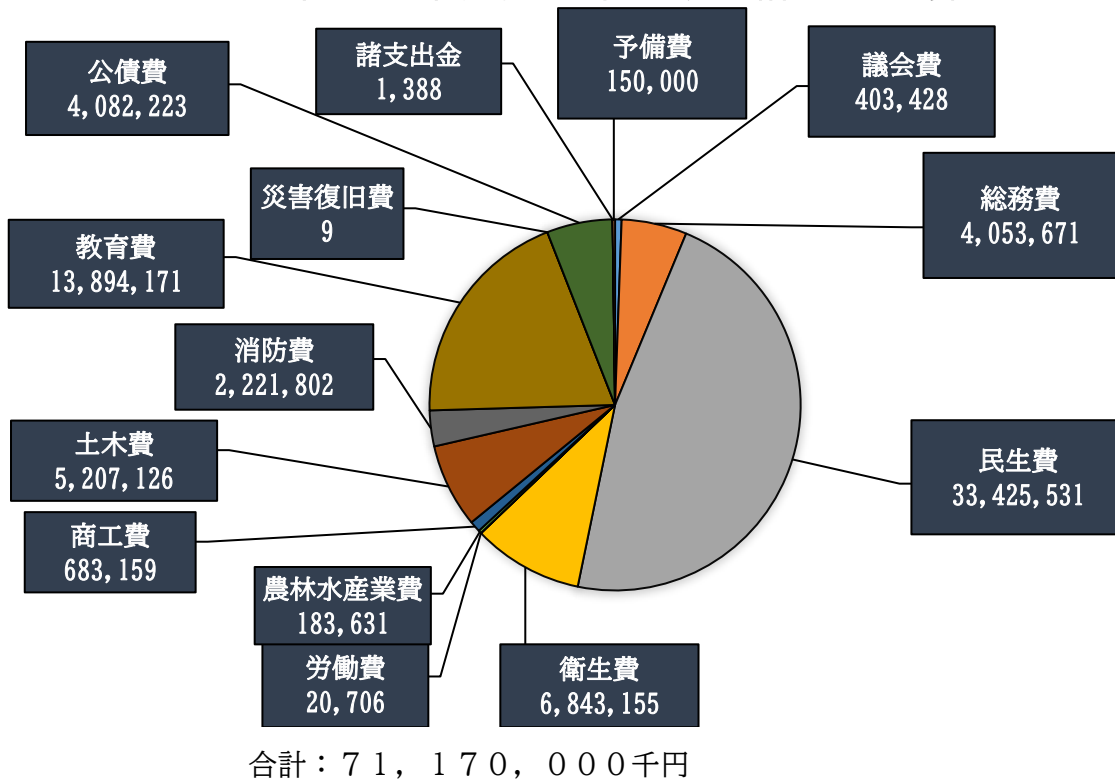
D: 50%~31% E: 30%~0%

※新型コロナウイルス感染症の影響により実施の無かった事業及び著しく実施率の低い事業については評価に該当しないものとする。

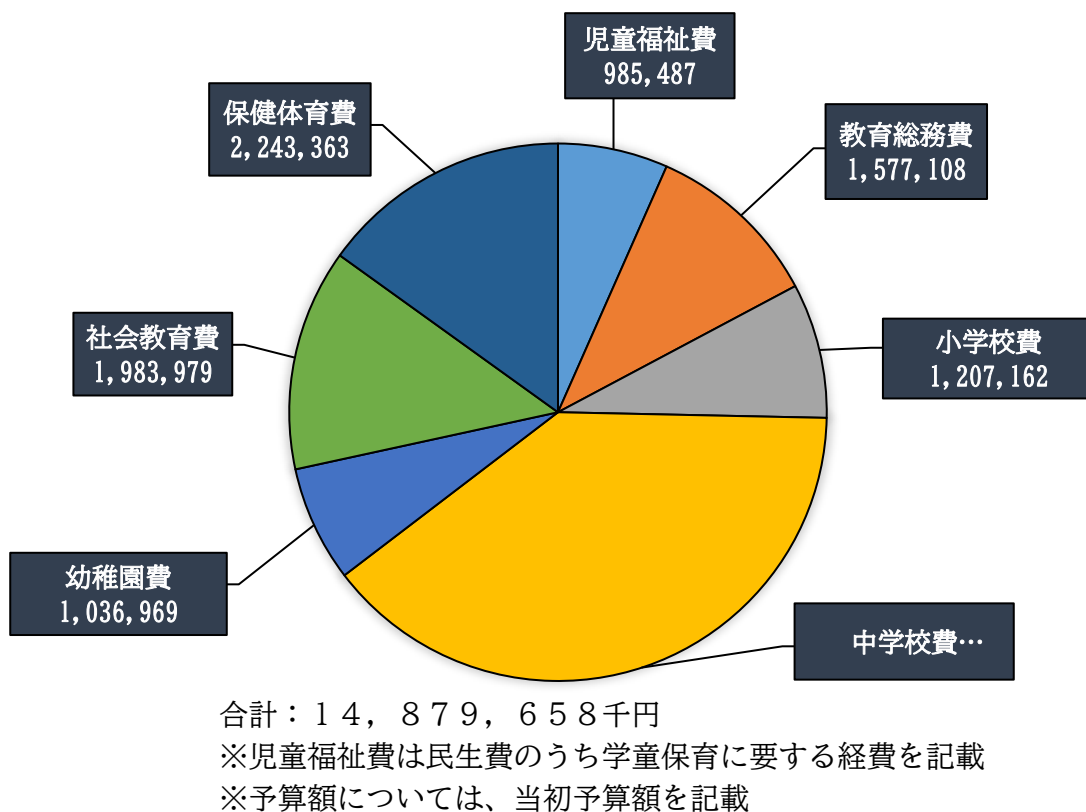
3. 流山市一般会計歳出予算と教育委員会歳出予算

単位：千円

令和3年度流山市一般会計歳出予算



教育委員会歳出予算



I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
基盤・学習機会整備事業	流山市文化芸術基本条例及び流山市教育振興基本計画に基づく生涯学習基盤・学習機会の整備・充実に係る施策の推進を図る。 また、新成人で組織する実行委員会の企画・立案による成人式を開催する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	4,756 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>流山市教育振興基本計画（第2期）に基づき、生涯学習推進施策を実施する。</p> <p>前年度、新型コロナウイルス感染症に係る国の緊急事態宣言に伴い、式典開催が中止となった成人式については、感染症対策を講じながら実施する。</p>		<p>式典を2部に分けて開催したほか、新成人が様々な感染症対策を検討しながら、成人式を実施できた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>成人式は、実行委員会が企画・立案し、企画運營業務委託の受託者がバックアップしながら運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、式典を2部構成で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部：10時00分～ ・第2部：12時30分～ 		<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、式典開催の可否や開催方法を検討する必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>成人式の式典では、来賓祝辞、実行委員会代表者のあいさつ、記念行事では、各中学校からのビデオメッセージ上映などが行われ、大勢の来場者でにぎわった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：1,103人 ・参加率：70.08% （前年度：式典中止） 		<p>実行委員会による企画・立案において、感染防止対策を講じた式典の開催方法などを検討する。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	夏休み期間（土日・祝日・お盆休みを除く26日間）、保護者等が日中働いていて不在となる低学年の小学生に対して、学校施設の一部を使用して、体験学習などのカリキュラムを組んで、夏休み期間を有意義に過ごしてもらう事業を実施する。	
担当課	予算額	評価
公民館	2,902 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>学校によっては、参加希望者が多く、抽選となることから、スタッフ人員の確保と学校施設開放の増加が可能かどうか課題である。</p> <p>児童館の不足している地域の居場所を提供するものだが、本来対象外となる学童クラブに入所、又は入所基準に該当している人の申し込みがある。</p>		<p>参加児童や保護者からのアンケートでカリキュラムや満足度で高い評価を得られた。</p> <p>【アンケート結果抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活、生徒とのふれあいの場が良かったです。 ・毎日様々なカリキュラムが行われていて良かったです。
取組と改善点		今後の課題
<p>26日間安全な運営を確保するため、各会場にスタッフリーダー1名とスタッフ4名を配置した。申し込みの際には、開設期間の3分の2に当たる17日以上参加を条件に加えた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校施設で活動する学童クラブとの活動導線をはっきりと分けて対応した。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響を見て、可能な限り対策を講じて開催する。</p> <p>また、スタッフの人員の確保と学校施設開放の教室等の増加が可能かどうか課題となる。</p>
取組結果		改善策
<p>おおたかの森小学校区に児童センターが開設されたため、おおたかの森小学校の開設を終了し2校での開設となった。そのためスタッフの確保は出来たが、新型コロナウイルス感染症対策の対応に苦労した。</p> <p>感染者を一人も出さずに最後まで開設出来た。</p> <p>各会場の参加児童数</p> <p>【在籍児童数・累計数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山小 (50人・888人) ・南流山小 (47人・889人) <p>【出席率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山小 68.3% ・南流山小 72.7% <p>※2校合計出席率 70.5%</p>		<p>スタッフの人員募集は広く募集し、引き続き確保に努める。</p> <p>また、利用可能な会場の確保について、学校側と協力体制をとっていく。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
高校・大学等との連携による学習充実事業	高校・大学との連携による「吹奏楽ワーク」や「サイエンス夢工房」など、各校の特色を活かした学校開放講座を実施する。 高校生を対象に舞台ワークショップを文化会館ホールで実施する。	
担当課	予算額	評価
公民館	120 千円	評価に該当しない
現状と課題		評価理由
近隣の高校や大学との連携による講座を企画し、新たな学習機会を提供する。 高校生対象の舞台ワークショップは、舞台技術を学ぶ機会を増やし、体験内容の充実を図る。参加者が舞台芸術のおもしろさや可能性を実感し、今後の演劇づくりに役立てることを目標としているが、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため開催が出来ない。		新型コロナウイルス感染症の影響により実施がないため。
取組と改善点		今後の課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、学校開放講座の実施は中止とした。		これまで連携したことのない高校や大学との、新しい連携事業の可能性を探ることが必要である。 多くの人々が舞台芸術に触れ、発信する場として、文化会館をいかに活用できるかが課題となっている。
取組結果		改善策
新型コロナウイルス感染症の影響により、学校開放講座は実施なし。 また、8月の舞台ワークショップや2月の「ながれやま高校演劇フェスティバル 20分シアター」は、新型コロナウイルス感染症の感染者増加の影響により中止した。		市内の各県立高校や市内外の大学の関係者と接触の機会を持ち、各学校の強みや課題を掘り下げ、事業化していく。 舞台技術を学ぶ機会を継続して提供するとともに、参加した高校生へのアンケートや顧問の先生の意見等をもとに、ワークショップの内容をさらに充実させ、社会の課題に対応できるプログラムを研究していく。

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
ライフステージに対応した学習充実事業	65歳以上の方を対象とした「ゆうゆう大学」や、児童を対象とした「夏休み子ども体験教室」など各世代に応じた講座等を実施する。	
担当課	予算額	評価
公民館	11,767 千円	A
現状と課題		評価理由
「ゆうゆう大学」は、全6学園で第10期2年目の事業を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、年間の講座回数を減らして実施した。		新型コロナウイルス感染症対策を行い、広い会場での座学での講座を開始した。 また、子ども体験教室等は、事前申し込み制とし、定員を減らす等実施することが出来たため。
取組と改善点		今後の課題
「ゆうゆう大学」は、学びの充実及び仲間づくりに取り組み、広い活動場所の確保に努めた。年間の講座回数を減らしたが、インターネットを利用していない高齢者もいたため、対面での講座を実施した。 そのほか、「夏休み子ども体験教室」等は、定員を減らす等新型コロナウイルス感染症対策を行った。		講座の再開に向け、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止の対策を行いながら実施していくことが課題となる。 また、受益者負担の観点等から年額受講費の有料化と、出席率の向上を目指す。
取組結果		改善策
<p>「ゆうゆう大学」は、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、年間の講座回数を減らして教養科目を実施した。インターネットを利用していない学生もいた。</p> <p>【学生数実績：6学園各14回】</p> <p>延べ参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央学園 423人 ・北部学園 440人 ・東部学園 461人 ・初石学園 432人 ・南流山学園 521人 ・おたかの森学園 492人 <p>【他実績】参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡めぐり 2回 15人 ・史跡ガイドウォーキング 20人 ・すず虫飼育教室 28人 ・夏休み親子チャレンジ教室 22人 ・野菜スタンプで作るオリジナルランチョンマット 7人 		<p>新型コロナウイルス感染症等の対策を行い、出来る範囲で講座を開催する。</p> <p>高齢者には学習意欲のある学生のための、新しい講座を提案する。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
家庭教育事業	市内各小中学校及びPTAとの協働による、家庭教育講座を開設する。 乳幼児期の子どもを持つ親の交流の場、子育てサロンを開催するほか、子育て中の親が子連れで生の音楽を楽しむコンサートなどを幅広く実施する。	
担当課	予算額	評価
公民館	1,198 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>家庭での教育の重要性を学ぶ機会を作り、対象となる保護者（親子で学びの共有が図れる講座については児童、生徒も）の参加を促す。各校のニーズに合った内容で実施するよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。</p> <p>乳幼児期の子どもを持つ親の情報交換の場や、交流の機会を継続して開催する。また、より多くの市民に周知を図る。</p>		<p>家庭教育講座も本来気軽に参加できる子育てサロン等も、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため規模の縮小や対策を講じ実施し、子育て家庭の孤独感等の解消に努めたため。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>小中学校の家庭教育講座は、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、対面式やYouTube配信を利用し講座を行った。</p> <p>また、公民館等の市内公共施設へのポスター掲示やチラシ配架、広報ながれやまやホームページ、ツイッターなど様々な方法で事業の告知を行った。</p>		<p>「家庭教育講座」は、参加者を限定しがちである。参加しやすいようテーマや会場、開催日時を検討することが必要である。</p> <p>乳幼児対象の講座は子育て世代のニーズが高い事業であるため、より多くの市民に周知を図り、今後も継続して実施していくことが必要である。</p>
取組結果		改善策
<p>新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、市内各小中学校及びPTAとの協働により実施した。各家庭で問題となっていること等、保護者のニーズに合った講座の実施が図られた。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同講演会 1回 ・開催校 12校 ・参加者 2,453人 <p>乳幼児の講座では、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため開催数が減少したが、対策を講じて実施に努めた。</p> <p>【延参加者数(開催回数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひだまりサロン 延べ163人 (20回) ・ひだまりサロンスペシャル 24人 (1回) ・さくらんぼくらぶ 延べ29人 (3回) ・南流山ぼかぼかサロン 延べ315人 (11回) ・子育てママのセミナー 延べ177人 (18回) ・子育てパパのセミナー 延べ10人 (2回) ・子育てコンサート 355人 (2回) <p>各子育てサロンでは、親同士の交流の場を提供できた。また、親子で生の音楽を楽しむことのできる場として、子育てコンサートを実施し、コロナ禍でも多くの参加者があった。</p>		<p>「家庭教育講座」をより効果的なものにするため、各校のニーズに合うよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。</p> <p>また、乳幼児の講座は広報、ホームページ、ツイッター等を利用し、参加された方に他の子育てサロンの情報を提供する。新たな周知方法を探りながら、必要な人に広く情報を届けていく。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
図書館奉仕事業	図書館資料の収集、閲覧、貸出、予約、児童サービス、レファレンスサービス（調べもの相談）、相互協力のほか、読書普及を目的とした講座等の開催や、ハンディキャップがあり来館が困難な市内在住利用者を対象とした宅配サービスを実施する。	
担当課	予算額	評価
図書館	57,238 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>利用者の生涯学習意欲に応える図書館サービスを提供する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながら、おはなし会や特色ある講座の開催、資料の展示等を実施して読書普及に努める。</p> <p>ハンディキャップがあり来館が困難な市内在住利用者を対象とした宅配サービスを実施する。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながらおはなし会や講座等を開催し、利用者の読書への関心を深めることに努めた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のために定員を減らす等の対策を行って、おはなし会、赤ちゃんおはなし会、子ども教室、人形劇のつどい、歴史講座、古典文学講座、データベース講座等を開催し、読書普及に努めた。</p> <p>ハンディキャップがあり来館が困難な市内在住利用者を対象とした宅配サービスを実施した。</p>		<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながらおはなし会や講座等を開催し、図書館サービスを実施する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のほか、様々な理由で来館することや本を読むことが困難な方にも図書館を利用していただけるようにサービスを充実させていく必要がある。</p>
取組結果		改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 330,779人 (前年度比 123.7%) ・貸出点数 1,174,378点 (前年度比 124.2%) ・おはなし会と各種講座の事業参加者数 5,988人 (前年度比 394.2%) ・宅配サービス 利用者数 177人 (前年度比 140.5%) 貸出点数 1,027点 (前年度比 157.3%) 		<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、図書館サービスを実施する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のほか、様々な理由で来館することや本を読むことが困難な方にも図書館を利用していただけるようにサービスの在り方について検討する。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
図書館資料購入事業	利用者の読書要求や情報ニーズに応えるため、図書、雑誌、新聞、視聴覚資料（CD・DVD・紙芝居）、電子書籍など、図書館が所蔵すべき資料を購入する。	
担当課	予算額	評価
図書館	36,320 千円	A
現状と課題	評価理由	
「流山市立図書館収集方針」のほか、「流山市子どもの読書活動推進計画」に基づいて資料を購入する。 コロナ禍においても利用者が自宅で読書を楽しめるよう、電子書籍の充実を図る。	紙媒体の資料、視聴覚資料、電子書籍のバランスを取りながら、幅広い分野の資料を購入した。	
取組と改善点	今後の課題	
幅広い分野の資料を購入した。 新型コロナウイルスの感染防止対策として、利用者に自宅で読書を楽しんでいただけるように電子書籍の所蔵点数を増やした。	引き続き計画的に資料を購入していく。 「流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実を図る。	
取組結果	改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般書 9,184冊 (前年度比 95.6%) ・ 児童書 4,563冊 (前年度比 109.0%) ・ 参考図書 313冊 (前年度比 98.7%) ・ 紙芝居 214点 (前年度比 108.6%) ・ CD 193点 (前年度比 117.7%) ・ DVD 95点 (前年度比 76.0%) ・ 電子書籍 276点 (前年度比 148.4%) 	資料の利用状況をきめ細かく把握しながら計画的に購入する。 資料の購入に必要な予算を確保する。	

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
図書館情報提供サービス事業	図書館サービスや資料の情報、利用統計等を管理できる電算システムを運用し、利用者がインターネット上で、蔵書検索、資料の予約、利用状況の確認、貸出期間の延長、ブックリストの作成等ができる図書館ホームページを管理する。図書館ホームページから、各種図書館情報を随時発信する。	
担当課	予算額	評価
図書館	30,841 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>電算システムを運用し、利用者が来館しなくても蔵書検索や予約等を行えるインターネットサービスを提供する。</p> <p>図書館ホームページ（一般向け・こども向け）のほか、フェイスブックも活用して積極的に情報を発信する。</p>		<p>インターネット予約やスマートフォンサイト等のサービスを活用する利用者が増加している。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>電算システムの稼働状況に問題が発生した場合は速やかにシステム会社に対応を求め、問題の解消、改善を図った。</p> <p>図書館ホームページでお知らせや行事の開催情報等を発信するほか、フェイスブックにも館内の展示等についての記事を掲載し、利用者に図書館の活動に親しみを持っていただけるよう努めた。</p>		<p>令和5年10月に電算システムを更新予定。インターネットサービスの利便性の更なる向上を目指す。</p> <p>平成30年度の電算システム更新で開設した「こどものページ」を活用し、子どもへ向けた情報発信に努める。</p>
取組結果		改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページアクセス数 1,194,381件 (前年度比 102.6%) ・ こどものページアクセス数 2,782件 (前年度比 87.6%) ・ スマートフォンサイトアクセス数 22,204件 (前年度比 170.6%) ・ インターネット予約件数 294,984件 (前年度比 121.4%) 		<p>インターネットやパソコンに不慣れな方にも図書館のインターネットサービスを活用していただくための取組について検討する。</p>

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

事業名	事業内容	
おおたかの森こども図書館 資料充実事業	「流山市子どもの読書活動推進計画」のブックスタート関連事業として、図書館司書が子どもの成長過程に応じて選んだ絵本でブックセットを製作し、子育て関連施設に設置する。子どもの読書活動に対する理解・関心を深め、子どもたちがいろいろな絵本に親しめる環境づくりを支援する。	
担当課	予算額	評価
図書館	1,045 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>毎年増加する子育て関連施設に対応して事業を継続させるため、ブックセットを設置済みの子育て関連施設に追加の絵本を贈ることは見直すこととし、令和3年度は、新設された子育て関連施設を対象としてブックセットを設置する。</p>		<p>子どもの読書活動に対する理解・関心を深め、子どもたちが、いつでも、どこでも、いろいろな絵本を楽しめる環境づくりを支援した。</p> <p>ブックセットを設置した子育て関連施設からは、「子どもが読みたい時に自由に手に取れるよう設置している」、「読み聞かせ等により子どもたちが絵本に触れる機会を大切にしたい」という感想をいただいた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>絵本66冊を手作りのケースに入れてブックセットを製作し、図書館司書が対象施設に送り届ける。</p>		<p>令和2年度までにブックセットを設置済みの子育て関連施設を対象にアンケートを実施したところ、96%の施設から、今後もブックセットの配付を希望するとの回答があった。今後、ブックセットを設置済みの子育て関連施設に対する支援をどのように継続していくかが課題である。</p>
取組結果		改善策
<p>市内に新設された子育て関連施設14施設にブックセットを贈った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 新設保育園 13施設 児童センター 1施設 ・絵本の購入冊数 924冊 		<p>ニーズに合った長期的な事業の在り方について検討する。</p>

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
生涯学習センター 施設管理事業	生涯学習センターに係る指定管理者が行う事業以外の庶務事業（建物損害保険、施設予約システムに係るネットワーク通信料）及び施設修繕（30万円以上）などを行う。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	997 千円	A
現状と課題		評価理由
施設に経年劣化が見られるが、市民に安全かつ快適に施設を利用いただけるよう、計画的な施設修繕が必要である。		新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間短縮や利用人数制限があったが、稼働率・利用件数は前年度を上回った。また、消防設備修繕などを実施し、安心・安全な施設の管理に努めた。
取組と改善点		今後の課題
A館屋上等の防水工事及び消防設備修繕を行った。		引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、施設の稼働率を上げる必要がある。
取組結果		改善策
【施設の利用状況】 ・稼働率 : 47.8% （前年度 : 42.7%） ・利用件数 : 16,552件 （前年度 : 13,250件）		指定管理者と連絡を密にしながら、安全かつ快適な施設管理を行う。

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
おおたかの森ホール 施設管理事業	おおたかの森ホールに係る指定管理者が行う事業以外の庶務事業（建物損害保険、ネットワークに係る機器保守料）及び施設修繕（30万円以上）などを行う。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	191 千円	A
現状と課題		評価理由
文化芸術活動の拠点施設として、市民に安全かつ快適に施設を利用いただけるよう、施設管理が必要である。		新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間短縮や利用人数制限があったが、稼働率・利用者数は前年度を大きく上回り、年間を通して多くの利用があった。
取組と改善点		今後の課題
利用者のご意見などを参考にしながら指定管理者と適宜、連絡調整を図り施設の管理に努めた。		引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、施設の稼働率を上げる必要がある。
取組結果		改善策
【施設の利用状況】 ・稼働率：83.75% （前年度：69.89%） ・利用者数：66,020人 （前年度：36,330人） ※利用者数は観客数を含む（楽屋は除く）		指定管理者と連絡を密にしながら、安全かつ快適な施設管理を行う。

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
北部公民館施設整備改修事業	建物の維持管理を良好に行い、利用者に安全で快適な環境を提供し、利便性を図るため改修を行う。令和2年度は、エレベーター更新工事設計業務委託を行い、令和3年度は、更新工事を実施した。	
担当課	予算額	評価
公民館	69,723 千円	A
現状と課題		評価理由
施設の長寿命化とバリアフリー化を図り、利用者に安全で快適な環境を提供し、利便性を図る必要がある。		エレベーター工事については、施工業者が安全対策及び感染症対策に努め工期内に完了した。 高齢者、妊婦、障害者等にとって、優しい施設となった。
取組と改善点		今後の課題
施設のバリアフリー化を推進するため、北部公民館に新たにエレベーターを設置した。設置工事中は、施工業者が安全対策及び新型コロナウイルス感染症対策に努めた。		建築より50年経過しており、今後も施設の維持管理を適切に行う必要がある。
取組結果		改善策
北部公民館エレベーター設置工事監理業務委託完了 1,980,000円 北部公民館エレベーター設置工事完了 66,792,000円		定期調査報告などを基に、改善箇所を事前に把握する。

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
東部公民館施設 整備改修事業	建物の維持管理を良好に行い、利用者に安全で快適な環境を提供し、利便性を図るため改修を行う。	
担当課	予算額	評価
公民館	3,509 千円	A
現状と課題	評価理由	
施設の長寿命化を図り、利用者に安全で快適な環境を提供し、利便性を図る必要がある。	施工業者が安全対策及び感染症対策に努め工期限内に完了した。	
取組と改善点	今後の課題	
外壁レンガの一部（小さい破片）が剥落、来館者へのケガの防止措置をとり、予備費を充当し改修工事を行った。 外壁レンガ改修工事 2,970,000円 増額変更分工事請負費 539,000円	建築より47年経過しており、今後も施設の維持管理を適切に行う必要がある。	
取組結果	改善策	
外壁レンガ改修工事完了 3,509,000円	引き続き、指定管理者と連絡を密にしながら、安全かつ適切な施設管理を行う。	

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
(仮称)南流山地域 図書館整備事業	南流山分館に代わり、南流山中学校校庭敷地内に児童センターと一体の複合施設として(仮称)南流山地域図書館を整備する。	
担当課	予算額	評価
図書館	772,028 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>建築工事と外構工事を進める。工期に遅れが生じないよう監理する。 南流山地域図書館の所蔵となる資料や必要な備品を購入する。</p>		<p>建設地の敷地の地盤改良が必要になったことによる工期延長の影響で、開館時期が3か月遅れることとなったが、工事については概ね順調に進捗している。 南流山地域図書館の所蔵となる資料を計画どおり購入できた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>工事内容に変更が生じたため変更契約を締結した。また、防球ネットを設置することとなり設計業務を委託し完了させた。 南流山地域図書館の所蔵となる資料を購入した。</p>		<p>令和4年度の開館に向け、外構及び防球ネット設置工事の施工業者を決定する必要がある。 備品の購入、附帯する業務等を計画的に進める必要がある。 指定管理者と協議を進め開館に備える。</p>
取組結果		改善策
<p>当初計画より工期が延びることとなったが工事を順調に進めることができた。</p> <p>購入資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般書 4,753冊 ・児童書 6,795冊 ・参考図書 170冊 		<p>工事監理者、関係部署等と協議を重ね工事の進捗状況を確実に把握する。</p>

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
中央図書館改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した図書館を改修する。	
担当課	予算額	評価
図書館	396 千円	A
現状と課題	評価理由	
設備や備品が老朽化しているため、改修が必要な部分の優先度を見極め、更新を行う。	計画どおり、出入口ドアの更新を行った。	
取組と改善点	今後の課題	
1階出入口ドアの更新を行った。	建築後40年以上経過していることから、法定点検等の指摘事項を確認し、改修すべき項目に優先順位をつけ計画的に進めていくことが課題である。	
取組結果	改善策	
1階出入口ドアの更新が完了した。	財産活用課ファシリティマネジメント推進室と連携し、計画と整合性を図りながら進めていく。	

I 生涯学習

I-2 生涯学習の環境整備

事業名	事業内容	
【新】おおたかの森図書ピックアップサービス拡充事業	おおたかの森市民窓口センターから独立した図書カウンターをスタートおおたかの森ホールの一 corner に新設し、図書館サービスの充実を図る。	
担当課	予算額	評価
図書館	8,000 千円	A
現状と課題		評価理由
おおたかの森市民窓口センターで実施してきたピックアップサービスは、利用者数の増加が続いている。予約資料の貸出、返却以外の図書館サービスも提供できるように利便性を向上させる必要がある。		計画どおり、おおたかの森図書ピックアップセンターを開設し、利便性を向上させることができた。
取組と改善点		今後の課題
令和3年8月に、おおたかの森図書ピックアップセンターを開設した。予約資料の貸出、返却のほか、利用者登録、リクエストの受付、他市町村立図書館からの資料の取り寄せ等、図書館と同等のサービスが提供可能になった。		今後も利用の増加が続く場合、おおたかの森図書ピックアップセンターの書棚に予約資料を保管しきれなくなり、貸出までに時間がかかってしまうおそれがある。
取組結果		改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 24,740人 (前年度比 197.3%) ・貸出冊数 58,996冊 (前年度比 193.9%) <p>※令和3年4月1日～7月29日までは市民窓口センターでピックアップサービスを実施</p>		おおたかの森図書ピックアップセンターの現状のスペースでは、書棚の増設は難しい。予約資料の運搬回数、運搬時間を工夫して効率的な運営に努める。

II 文化芸術・歴史

II-1 市民主体の文化芸術活動の促進

事業名	事業内容	
美術活動支援事業	流山市美術家協会が主催する「流山市展」の開催を支援する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	360 千円	A
現状と課題		評価理由
公募市民が参加する「流山市展」の開催を支援し、引き続き、美術文化の普及と振興を図る必要がある。		プロの作品と公募市民の作品を一堂に鑑賞できる場を創出している。
取組と改善点		今後の課題
流山市美術家協会主催の「流山市展」の事業費の一部に、補助金を交付した。 ・補助金額：360,000円		出品者及び観覧者の更なる増加が望まれる。
取組結果		改善策
令和3年7月14日から7月25日まで、さわやかちば県民プラザで「第41回流山市展」が開催され、多数の応募があった。 ・市展の出品数 絵画：100点 工芸・彫刻：18点 (前年度：開催中止)		同事業への支援を継続しながら、広報紙やホームページで市民への周知に努める。

II 文化芸術・歴史

II-1 市民主体の文化芸術活動の促進

事業名	事業内容	
文化祭開催事業	各種文化団体が活動成果を発表する場として、参加団体で構成する実行委員会と共催による「文化祭」を開催する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	1,300 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>実行委員会を支援し、文化祭を開催する。オープニングイベントの内容を充実させ、観客数の増加を目指す必要がある。</p>		<p>今年度は、オープニングセレモニー・イベントをスタートおおたかの森ホールで実施し、会場内には体験コーナーを設け、文化祭を知らない方にも大勢参加いただいた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>実行委員会の組織づくりを支援したほか、文化祭開催事業費の一部に補助金を交付した。</p> <p>・補助金額：1,300,000円</p>		<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業を計画する必要がある。</p> <p>また、観客数の更なる増加が望まれる。</p>
取組結果		改善策
<p>令和3年10月23日から11月28日まで、芸能発表・作品展示・各種行事の3部構成で「第66回文化祭」を開催した。</p> <p>・参加団体：20団体 ・参加者数：6,190人 ・観客数：3,471人 （前年度：開催中止）</p>		<p>引き続き、参加団体にオープニングイベントへの参加を促し、実行委員会のまとまりを高めていく。</p>

II 文化芸術・歴史

II-1 市民主体の文化芸術活動の促進

事業名	事業内容	
市民音楽祭開催事業	市内の音楽団体が活動の成果を発表する場として、発表者（団体）自らが運営に関わる市民音楽祭を開催する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	899 千円	A
現状と課題		評価理由
大学生などの若年層が参加しやすい企画やPR活動を行い、発表者（団体）や観客数の増加を目指す必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により、観客数は例年より減少傾向であったが、多彩なジャンルの音楽を披露し、鑑賞できる場となった。
取組と改善点		今後の課題
<p>本事業の業務委託の受託者・流山市音楽家協会が発表者（団体）を公募した。当日の会場設営などを含め、発表者（団体）の運営により開催した。</p> <p>市内の大学に参加を呼び掛けたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、応募はなかった。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業を計画する必要がある。</p> <p>引き続き、新たな発表者（団体）を発掘する必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>令和4年3月20日、文化会館で「第32回流山市民音楽祭」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者数：15団体、210人 ・観客数：延べ520人（前年度：開催中止） 		若年層の発表者を発掘するため、募集方法の見直しを検討する。

II 文化芸術・歴史

II-1 市民主体の文化芸術活動の促進

事業名	事業内容	
学校開放事業	文化芸術団体に活動の場を提供するため、休日等の学校施設（主に音楽室）の開放利用を図る。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	0 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に支障がないよう、引き続き配慮する必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数は前年度を下回ったが、可能な限り要望に応えることはできた。
取組と改善点		今後の課題
利用団体に感染症対策の徹底を周知し、学校と連携しながら施設の有効活用に努めた。		コロナ禍においても、最大限の利用ができるよう、学校との連携を図る必要がある。
取組結果		改善策
【利用団体の活動内容】 コーラス、合奏、太鼓の練習など ・利用件数：110件 （前年度：118件）		学校、利用団体、近隣住民の意見を迅速に反映するため、各所との協議を密にし、安心・安全な開放利用を図る。

II 文化芸術・歴史

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

事業名	事業内容	
市民ギャラリー展示事業	毎月、市役所第1庁舎1階「市民ギャラリー」を利用して、絵画や書道、写真、俳句などの作品展示を行う。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	548 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>展示内容が恒常化しないよう、新たなジャンルの作品展示も検討する必要がある。</p>		<p>来庁者に、気軽に芸術鑑賞を楽しんでいただけの機会を提供できた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>文化芸術団体、業務委託の受託者と調整を密にして、新たな出展団体の発掘に努めた。</p> <p>7月は「水墨画二人展」と題し、市内在住の漆原米子氏、俊晶子氏の作品を展示、8月は市内中学校から募集した絵画作品などを展示した。</p>		<p>引き続き、展示内容が恒常化しないよう、新たな出展団体の発掘が必要である。</p>
取組結果		改善策
<p>年間を通して、幅広いジャンルの展示を行い、来庁者に作品を楽しんでいただけた。</p> <p>【展示の概要】 写真、俳句、絵画、水墨画、手工芸、書道、市展受賞作品、中学校生徒作品など</p>		<p>文化芸術団体、学校、業務委託の受託者と調整を密にして、来庁者の興味・関心を得られる展示内容を企画する。</p>

II 文化芸術・歴史

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

事業名	事業内容	
市民芸術劇場事業	市民団体と市教育委員会で組織する実行委員会主催で、コンサートなどを開催し、市民に低廉な価格で舞台芸術鑑賞の機会を提供する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	1,500 千円	評価に該当しない
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、開催の可否を判断する必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により実施がないため。
取組と改善点		今後の課題
令和3年度の開催に向け前年度から実行委員会を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続での中止が決定された。		引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、開催の可否を判断する必要がある。 また、平成31年4月にスターツおおたかの森ホールが開館し、市内で質の高い音楽を鑑賞できる機会が増える中、本事業の在り方についても検討する必要がある。
取組結果		改善策
新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。		実行委員会との連携を密にし、感染症対策を講じながら事業を実施する。

II 文化芸術・歴史

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

事業名	事業内容	
サロンコンサート開催事業	毎月1回、市役所第1庁舎1階ロビーなどで、生演奏のコンサートを開催する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	1,097 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避けるため、市役所1階ロビー以外での開催を検討する必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により、8月、9月は中止となったが、市民が気軽に生演奏に触れる機会を提供できた。
取組と改善点		今後の課題
<p>業務委託の受託者である流山市音楽家協会と調整を図り、文化会館及び生涯学習センター（流山エルズ）を会場に、感染症対策を講じながら、質の高いコンサートを開催した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、8月、9月は中止となった。</p>		コロナ禍においても、感染症対策を十分に講じながら、より多くの市民に会場に来ていただく。
取組結果		改善策
<p>年間10回のコンサートを開催し、毎回、多くの市民に音楽を楽しんでいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：10回 （前年度：7回） ・出演者数：28人 （前年度：19人） ・観客数：延べ715人 （前年度：延べ540人） 		引き続き、市役所1階ロビー以外での開催を検討し、併せて他会場での開催を市民に周知し、観客数の増員につなげる。

II 文化芸術・歴史

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

事業名	事業内容	
国際室内楽音楽祭共催事業	スタートおおたかの森ホールの指定管理者が行う「国際室内楽音楽祭」を共催し、質の高い芸術鑑賞の機会を市民に提供する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	3,000 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響により、海外アーティストの来日が難しい状況である。		国際室内楽音楽祭は、2年連続での中止となったが、「プレ音楽祭」の開催により、令和4年度の音楽祭への機運を高めることができた。
取組と改善点		今後の課題
<p>令和3年5月3日から5月5日まで開催を予定していた「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2021」は、海外アーティストの来日が難しく、中止となった。</p> <p>令和4年度の音楽祭への機運醸成のため、10月31日に指定管理者が開催した「スペシャルイベント（プレ音楽祭）」を共催した。</p> <p>【プレ音楽祭】 ・負担金：1,000,000円</p>		新型コロナウイルス感染症の影響により、海外アーティストの来日が難しい。令和4年度の開催に向けて検討すべき事項が多い。
取組結果		改善策
<p>国内在住の演奏家やオーケストラによる「プレ音楽祭」では、大勢の市民が約2時間の演奏を楽しんだ。</p> <p>・観客数：312人</p>		指定管理者との連携を密にして、開催時期や出演者等を検討する。

II 文化芸術・歴史

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

事業名	事業内容	
一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進める。	
担当課	予算額	評価
博物館	1,867 千円	A
現状と課題	評価理由	
一茶双樹記念館は平成7年、杜のアトリエ黎明は平成13年に開館し、ともに20年が経過して、老朽化が目立つようになってきている。一般開放をしながら計画的な改修が求められている。	利用しやすい施設の改修を実施することができた。	
取組と改善点	今後の課題	
老朽化の施設改修を進め、ティーマービスの充実を図る。	施設のバリアフリー化を進めるとともに、老朽化した施設の修繕を進めていく。	
取組結果	改善策	
一茶双樹記念館の夏障子の修繕及び秋元本家展示ケースの修繕、展示パネルの更新を行った。	修繕計画を立て、計画的な修繕を進める。	

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容	
指定等文化財保存活用整備事業	市内に残る文化財の保存と整備を図り、その公開・活用を進める。	
担当課	予算額	評価
博物館	62,466 千円	B
現状と課題	評価理由	
国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の施設公開に向けての保存・改修を進める。 鱈ヶ崎三本松古墳古塚碑設置工事を実施し、一般見学ができるように整備を行う。	「秋元家住宅土蔵」は、保存・修復方法の再検討を行ったため、保存修復工事は令和4年度に変更することとした。 鱈ヶ崎三本松古墳古塚碑設置工事については予定どおりに完了し、一般公開を行った。	
取組と改善点	今後の課題	
「秋元家住宅土蔵」は保存・改修工事に向けた修復工事を実施する。 鱈ヶ崎三本松古墳古塚碑設置工事を実施する。	「秋元家住宅土蔵」は、保存・修復工事を進める。内部の公開に向けて、展示内容の検討を進める。	
取組結果	改善策	
「秋元家住宅土蔵」は、修復工事費が想定より大きく上回ったため、修理方針検討を行い、令和4年度以降に実施することとした。 鱈ヶ崎三本松古墳古塚碑は、鱈ヶ崎4号公園への移設が完了した。	「秋元家住宅土蔵」の保存修復については、文化財審議会委員からの意見も伺いながら、慎重に工事を進める。	

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容																							
博物館活動事業	資料の収集・保管、講座・講演会・子ども教室開催等の教育・普及などを実施する。また、流山市に関する調査研究を行い、その成果を市民に公開するための企画展を開催する。																							
担当課	予算額	評価																						
博物館	10,832 千円	A																						
現状と課題		評価理由																						
新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの体験型講座等各種事業ができない中で、どのような方法で市の歴史について学び、体験をしていくかが課題となっている。		新型コロナウイルス感染症の影響がある中、多くの方々に参加・来館していただき、流山の歴史について、市民の関心が高いことが明らかとなった。																						
取組と改善点		今後の課題																						
<p>定員を制限する中で従来から実施していた「子ども教室」や学校への出前授業を行い、身近な歴史資料を使い、流山の歴史への関心を深めた。</p> <p>企画展「新収蔵資料展 流山のいま・むかし」、小展示「昔の道具～100年前にタイム・トリップ」、利根運河通水130周年記念展「We Love利根運河～歴史と自然と友の会のあゆみ～」を開催した。関連事業を含め、周知活動を実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策事業として、ホームページ上に、おうちミュージアムという体験型のコーナーを設置した。</p>		講座参加や入館者数の制限が続く中で、これまでと違う活動・周知方法を開拓していく必要がある。																						
取組結果		改善策																						
<p>【講座開催回数】</p> <table border="0"> <tr> <td>博物館子ども教室</td> <td>8回</td> <td>174人</td> </tr> <tr> <td>寺子屋講座</td> <td>18回</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>小学校等への出前授業</td> <td>9回</td> <td>807人</td> </tr> </table> <p>【資料収集件数・点数】</p> <p>13件・73点</p> <p>【収蔵資料点数】</p> <p>28,369点</p> <p>【企画展等開催回数】3回</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回企画展</td> <td>観覧者数</td> <td>10,239人</td> </tr> <tr> <td>小展示</td> <td>観覧者数</td> <td>3,272人</td> </tr> <tr> <td>利根運河通水130周年記念展</td> <td>観覧者数</td> <td>766人</td> </tr> </table> <p>【関連実施事業】</p> <table border="0"> <tr> <td>企画展展示解説会</td> <td>80人</td> </tr> </table> <p>【歴史体験講座】</p> <table border="0"> <tr> <td>土器にさわってみよう</td> <td>79人</td> </tr> </table>		博物館子ども教室	8回	174人	寺子屋講座	18回	150人	小学校等への出前授業	9回	807人	第1回企画展	観覧者数	10,239人	小展示	観覧者数	3,272人	利根運河通水130周年記念展	観覧者数	766人	企画展展示解説会	80人	土器にさわってみよう	79人	ホームページでの体験型講座の活用やデジタルアーカイブスの導入を検討し、来館以外での博物館資料の公開を進める。またフェイスブック、ツイッター、インスタグラム等のSNSを活用し、博物館への関心を高める。
博物館子ども教室	8回	174人																						
寺子屋講座	18回	150人																						
小学校等への出前授業	9回	807人																						
第1回企画展	観覧者数	10,239人																						
小展示	観覧者数	3,272人																						
利根運河通水130周年記念展	観覧者数	766人																						
企画展展示解説会	80人																							
土器にさわってみよう	79人																							

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容	
市史編さん活動事業	流山市に関する資料の収集・保管、歴史の調査・研究、市史編さん審議会の運営、古文書の解読、講座の開催、講師の派遣、「流山市史」・「流山市史研究」の刊行を行う。	
担当課	予算額	評価
博物館	5,917 千円	A
現状と課題	評価理由	
市内に残る古文書公開に向けての把握と調査を進める。市民が古文書に親しむ機会を増やす。	古文書講座を開催し、市民に対して知見を広めることができた。 『恩田家文書目録（その2）』に向けての準備を行った。 『流山市史研究』24号を刊行した。	
取組と改善点	今後の課題	
市史編さん審議회를開催し、流山市史刊行及び方針について審議した。公開事業として、古文書講座を開催した。収集した未解読資料は、継続して整理作業を実施しており、その成果である古文書目録の刊行準備を進める。 収集・寄託した資料の基礎整理を進める。	古文書資料の公開方法を検討していく。	
取組結果	改善策	
【市史編さん審議会開催回数】 2回 【講座開催状況】 古文書講座 7回 受講者数 96人 『恩田家文書目録（その2）』の刊行準備 『流山市史研究』24号を刊行した。	古文書の整理を進め、目録の作成を実施していく。古文書の整理・解読できる人員の確保・育成。公開に向けて、古文書資料のデジタル化を進める。	

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容	
文化財保護推進事業	文化財審議会及び今年度から開始した文化財保存活用地域計画策定、市指定文化財等への補助金の交付や調査、市内遺跡の試掘をはじめとした埋蔵文化財の保護と普及活動、文化財説明看板の設置等を行う。	
担当課	予算額	評価
博物館	7,188 千円	A
現状と課題	評価理由	
文化財保護の方向性を決定するために指定・登録候補となる文化財の調査を行う。 文化財保護法改正に伴い、文化財保存活用地域計画策定を進める。策定作業にあわせて、未指定文化財、市指定候補文化財調査、市内の遺跡や文化財の普及活動を進める。	新たに「旧割烹新川屋本館」が市指定有形文化財に指定され、市内の指定・登録文化財は52件となった。 未指定の文化財調査を進め、適切な文化財保護を行った。 前ヶ崎川村台遺跡の発掘現場説明会では、多くの市民の参加があった。	
取組と改善点	今後の課題	
指定・登録文化財の調査を実施し、文化財審議会を開催した。 文化財保存活用地域計画策定に向けての協議会を立ち上げた。 指定文化財の補助事業を実施した。 埋蔵文化財の照会処理、試掘を適切に実施した。 市内各所に残る文化財の調査を実施する。	開発が進み、街が大きく変貌する中で、市内に残る文化財の保存・活用について、これまで以上に地域と連携していく必要がある。	
取組結果	改善策	
【文化財審議会開催回数】 3回 【文化財保存活用地域計画策定協議会開催回数】 1回 【指定文化財補助事業】 3件 【試掘実施回数】 25遺跡 29回 【文化財調査件数】 12件 【発掘現場説明会】 前ヶ崎川村台遺跡 1日 74人	関係課や審議会・協議会、地域住民と連携を取りつつ、指定・未指定にかかわらず文化財の保存・活用を積極的に進める。	

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容	
埋蔵文化財調査事業	<p>開発行為によって消滅する可能性がある埋蔵文化財包蔵地に対し、事前に適切な発掘調査を実施する。民間発掘調査会社が実施する発掘調査の調査及び整理作業の監理を行う。</p> <p>発掘調査で得られた図面・写真や出土遺物などの資料は整理室内で整理・分析を行う。その成果を公開するために、報告書を作成・刊行する。</p>	
担当課	予算額	評価
博物館	76,142 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>民間開発に伴う発掘調査を的確に実施する。民間発掘調査会社が実施する発掘調査及び整理作業は、監理を適切に行う必要がある。</p> <p>報告書刊行に向けた整理作業は3件を実施している。</p> <p>報告書作成の進捗を図ることが喫緊の課題である。</p>		<p>発掘調査については予定どおりに開始・終了した。民間発掘調査会社の監理は適切に実施した。</p> <p>発掘調査報告書については、予定どおりに刊行した。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>各種開発事業に伴う発掘調査を実施し、民間発掘調査会社の監理については適切に実施した。</p> <p>整理作業では、区画整理事業と民間開発事業について行い、発掘調査報告書（令和2年度市内遺跡）を執筆・刊行した。</p>		<p>発掘調査については、的確に実施・終了させることが求められる。</p> <p>整理作業については、過去に実施した発掘調査の報告書刊行を進める。</p>
取組結果		改善策
<p>【発掘調査実施件数・面積】 16件 2,694.7㎡</p> <p>【民間発掘調査会社実施件数・面積】 1件 6,338㎡</p> <p>【整理作業実施件数】 3件</p> <p>【民間発掘調査会社実施の整理作業件数】 1件</p> <p>【発掘調査報告書刊行数】 3冊</p>		<p>開発に即応できる発掘調査体制を確立する。本事業に専従する人員を確保・増員する必要がある。</p>

II 文化芸術・歴史

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

事業名	事業内容	
埋蔵文化財整理室・収蔵施設管理事業	埋蔵文化財整理室・収蔵庫を維持・管理し、整理作業を円滑に実施できる環境を整える。 また、図面・写真・出土遺物などの資料を適正に収納・保管する施設を維持・管理する。	
担当課	予算額	評価
博物館	2,157 千円	A
現状と課題	評価理由	
埋蔵文化財整理室2箇所・収蔵庫8棟を管理している。これらの施設は市内に分散しているために維持・管理の負担が大きいいため、集約化が望まれる。また老朽化が激しく、細かな修繕が必要である。	整理室・収蔵庫の適切な維持・管理に努めた。	
取組と改善点	今後の課題	
整理室・収蔵庫の警備・草刈り業務を委託し、適切な施設の管理を行った。また、施設の修繕を適宜、実施した。	施設の分散・老朽化を解消するため、集約を図った恒久的な埋蔵文化財整理室・収蔵庫を確保する必要がある。	
取組結果	改善策	
【保守警備委託契約】 1件 【草刈り業務委託契約】 5件 【施設修繕】 1件	施設の集約化を検討するとともに、移転候補地の調査と関係各課との協議を継続する。	

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に際し、オランダ代表チームの事前キャンプを受け入れる。また、オランダとの交流事業やスポーツ遺産の創出を図る。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	43,303 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、安心・安全な事前キャンプの運営が課題である。		コロナ禍により多くの自治体で事前キャンプが中止となる中、徹底した感染症対策により、選手団及び関係者に1人の陽性者も出すことなく、なおかつオンラインを活用して交流事業にも一定の成果を挙げられたため。
取組と改善点		今後の課題
オランダ側と協議を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を定めた選手等の「受入れマニュアル」に基づき、女子ハンドボール、卓球、パラ卓球の3競技の事前キャンプを実施した。		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の交流の継続が課題である。
取組結果		改善策
千葉県を通じたオランダ側との交渉の結果、オリンピックの女子ハンドボール、卓球、パラリンピックの卓球の計3競技について事前キャンプを実施し、交流事業に一定の成果を挙げた。		市内小中学校児童生徒による駐日オランダ大使館への手紙を通じた交流など、事前キャンプで培われたオランダとの交流を継続していく。

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
みんなのスポーツ活動推進事業	だれでも気軽に楽しくスポーツ活動に親しめるよう、コミュニティスポーツフェスティバル等を開催する。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	173 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の運動不足が懸念される中、感染症対策をとりながら市民のスポーツ活動の振興を図っていくことが課題である。		コロナ禍が長期化する中、コミュニティスポーツフェスティバル2021は中止となったものの、その準備の過程で、スポーツ推進委員との連携を強化し、新たな事業の足掛かりを築くことができた。
取組と改善点		今後の課題
コロナ禍が長期化する中でも、市民のスポーツ活動を地道に支援していく。		コミュニティスポーツフェスティバルなど、新たな参加者を取り込む機会を積極的に実施することが課題である。
取組結果		改善策
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年5月16日に予定していたコミュニティスポーツフェスティバル2021は中止となった。		コロナ禍により2年連続で中止となったコミュニティスポーツフェスティバルを実施する。

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
健康・体力づくり活動事業	市民の健康保持・増進と体力向上のため、いつからでも参加できるプログラムの場を提供する。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	2,387 千円	A
現状と課題		評価理由
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら市民の健康・体力づくりを図っていくことが課題である。		コロナ対策をとりながらの健康・体力づくり活動を推進し、着実に成果を挙げることができた。
取組と改善点		今後の課題
健康ジョギング講習会やコミュニティスポーツのつどいのほか、昨年度中止となったウォータービクス講習会を実施し、コロナ禍でのスポーツ振興を進めることができた。		コロナ禍をめぐる状況が日々変化していく中で、その都度ベストな対応を模索しながらスポーツ活動の振興を図っていくことが課題である。
取組結果		改善策
【健康ジョギング講習会】 開催回数： 201回 参加人数：10,472人 【コミュニティスポーツのつどい】 開催回数： 11回 参加人数：487人 【ウォータービクス講習会】 開催回数： 8回 参加人数：150人		常に最新の情報に目を配りながら、市民の健康・体力づくりを推進していく。

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
スポーツ講習会・大会開催事業	市民スポーツ大会や流山ロードレース大会を開催するほか、スポーツフェスタ等を開催し、競技スポーツやレクリエーション活動の場を提供する。 また、ジュニア期の指導に関わる指導者向けの講習会を実施し安心・安全なスポーツ指導の環境を整える。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	17,578 千円	A
現状と課題	評価理由	
新型コロナウイルス感染症の影響により、市民スポーツ大会は中止となった。その一方、流山ロードレース大会はオンラインで実施し、ながれやまスポーツフェスタも盛況に終わるなど、コロナ禍でのスポーツイベントの定着が見られた。	新型コロナウイルス感染症対策をとりながらのスポーツ大会が定着し、成果を挙げることができた。	
取組と改善点	今後の課題	
コロナ禍での新たな取組として、流山ロードレース大会をオンライン形式で実施した。	令和3年度はオンライン形式で実施された流山ロードレース大会について、令和4年度は様々なコロナ対策を採りながら、集合形式で実施することが最大の課題である。	
取組結果	改善策	
【流山ロードレース大会オンライン】 参加人数：519人 【市民スポーツ大会】 中止 【県民体育大会】 参加人数：26人 【ジュニアスポーツ指導者講習会】 参加人数：60人 【ながれやまスポーツフェスタ】 参加人数：230人	令和4年度は集合形式で流山ロードレース大会を実施するため、関係者と協議・準備を進めていく。	

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
学校体育施設利用促進事業	地域住民のスポーツ活動に供するため、学校体育施設の開放利用を図る。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	3,029 千円	A
現状と課題		評価理由
少年野球や少年サッカー、バスケットボールなどを行う地域単位のスポーツ団体に対し、学校の校庭・体育館を有効利用していただけるよう学校と連携を図りながら、制度の中で丁寧な運用を行っている。		各小・中学校との連携・協力により利用の調整をスムーズに行うことができた。また、令和4年4月からおおぐろの森小学校の学校開放を開始する準備を進めた。
取組と改善点		今後の課題
長期化するコロナ禍により、学校開放の休止や時間短縮を余儀なくされる中でも、チェックシートの提出など、コロナ対策をとりながら学校開放を継続した。		新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、安全に学校体育施設を開放利用していくことが課題である。
取組結果		改善策
各小・中学校の協力により、各団体との利用調整は円滑に行われ、また、利用許可条件に基づいた適切な利用がなされた。 団体使用件数 11,915件 参加者数 443,624人		引き続き、学校体育施設の開放利用にあたっては各団体で新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで利用するよう周知する。また、学校開放利用調整会議等で学校及び近隣住民とのトラブルが発生しないようマナーを守った利用を呼び掛ける。

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

事業名	事業内容	
生涯スポーツ指導者の育成と活用事業	市教育委員会で委嘱した生涯スポーツ指導者の資質向上のための研修会を開催するとともに、専門性を兼ね備えた人材を活用することで、市民が体力や年齢、技術、趣味及び目的に応じた適切な指導が受けられ、健康・体力の保持増進を図る環境を醸成する。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	1,945 千円	A
現状と課題	評価理由	
スポーツ推進委員、コミュニティスポーツリーダーの研修会を実施し、市民サービスの向上に努める。	新型コロナウイルス感染症をめぐる状況が日々変化中、スポーツ振興と感染症対策の両立について、会議の中で議論を深めた。	
取組と改善点	今後の課題	
市民団体からの指導者派遣についてスポーツ推進委員協議会に依頼した。コミュニティスポーツリーダーを対象とした研修会を実施し、生涯スポーツ指導者としての資質の向上に努めた。	新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、会議や研修会を着実に実施していくことが課題である。	
取組結果	改善策	
【指導者派遣】 スポーツ推進委員 1回 【委嘱】 スポーツ推進委員 19名 コミュニティスポーツリーダー 47名 【研修会】 コミュニティスポーツリーダー 1回	会議や研修会の際は換気、ソーシャルディスタンス確保を徹底する。また、オンライン会議の活用も検討する。	

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-2 スポーツ環境の整備

事業名	事業内容	
体育施設維持管理事業	利用者サービスの向上を図るため、体育施設の効率的な管理を行う。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	33,161 千円	A
現状と課題	評価理由	
流山スポーツフィールドC面の水はけが悪いことが課題となっている。	流山スポーツフィールド稼働率（土日祝）が、51%から66%に増加した。	
取組と改善点	今後の課題	
砂を散布することで改善し、稼働率増を目指した。	今後も安心・快適な施設を市民に提供できるよう、管理していく必要がある。	
取組結果	改善策	
【流山スポーツフィールド】 利用者数 50,263人 稼働率（土日祝） 66.0% 【おおたかの森スポーツフィールド】 利用者数 26,917人 稼働率（土日祝） 64.7% 【東部スポーツフィールド】 利用者数 11,817人 稼働率（土日祝） 69.7%	受託事業者と情報共有を密にし、適切な管理を実施していく。	

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-2 スポーツ環境の整備

事業名	事業内容	
体育施設備品等整備事業	体育施設に設置する備品等の整備を行うことで、安全・快適なスポーツ活動の場を提供する。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	1,827 千円	A
現状と課題	評価理由	
おおたかの森スポーツフィールドでは、トイレが遠いことが課題になっている。	施設の快適性、安全性を共に向上させた。	
取組と改善点	今後の課題	
利用者の要望を踏まえ、おおたかの森スポーツフィールドに仮設トイレを設置する。	今後も安心・快適な施設を市民に提供できるよう、必要な備品を計画的に整備していく。	
取組結果	改善策	
おおたかの森スポーツフィールドに仮設トイレを設置したほか、北部柔道場に網戸を設置した。	今後の各施設の整備について、利用率やニーズ等を踏まえ、計画的に機能の充実を図っていく。	

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-2 スポーツ環境の整備

事業名	事業内容	
体育施設改修・整備事業	施設利用者が安心・安全に利用でき、かつ、提供する公共サービスの質の維持・向上を図るため「流山市公共施設等総合管理計画」に基づいて、施設の定期的なメンテナンスやリニューアルを行い、施設の長寿命化を図る。	
担当課	予算額	評価
スポーツ振興課	17,241 千円	A
現状と課題		評価理由
総合運動公園観覧席・バックネット等改修工事、総合運動公園庭球場の増設など、大型の工事が予定されており、着実に事業を進捗させていくことが課題である。		令和4年度の総合運動公園観覧席・バックネット等改修工事に向けて、着実に準備を進めた。
取組と改善点		今後の課題
利用者の要望を踏まえ、総合運動公園野球場に観覧席・バックネットを改修・整備する。		今後とも施設を安全・快適に利用できるよう、計画的に整備を進めていく必要がある。
取組結果		改善策
総合運動公園観覧席・バックネット等改修工事について、実施設計を終え、令和4年度の工事に向けた準備を進めた。		今後の各施設の整備について、利用率やニーズ等を踏まえ、計画的に整備を図っていく。

IV 子ども・子育て

IV-1 学童クラブの充実

事業名	事業内容	
学童保育運営事業	学童クラブ運営に係る消耗品や備品の整備、障害児受入れに伴う業務、放課後児童支援員の処遇改善業務委託、研修会を行う。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	116,945 千円	A
現状と課題		評価理由
児童数の増加に伴い、保育の受け皿の確保を行っているが、同時に保育の質の向上が求められている。		<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、可能な範囲でイベントを行うなど、各学童クラブにおいて工夫した育成支援が行われた。</p> <p>国の補助を活用した臨時特例処遇改善業務委託を行い、支援員等の更なる処遇改善に寄与した。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>令和3年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催するほか、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行う。</p> <p>さらに、学童クラブの安心・安全のため、順次防犯カメラを設置する。</p>		学童クラブ運営に係る消耗品や備品の整備、障害児受入れに伴う業務、放課後児童支援員等の処遇改善業務委託、研修会を引き続き行う。
取組結果		改善策
<p>学童クラブ延べ利用人数 28,934人 処遇改善のために支払った額 25,547千円 研修会実施回数 1回</p> <p>市内全学童クラブへの防犯カメラ設置を完了した。 また、児童の安全に配慮しながらの育成支援に努めた。</p>		令和4年度においても、引き続き学童クラブ支援員等を対象に研修を実施するほか、処遇改善のための費用を支払う。

IV 子ども・子育て

IV-1 学童クラブの充実

事業名	事業内容	
学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、新たな学童クラブを創設する。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	215,682 千円	A
現状と課題		評価理由
児童数の増加に伴い、保育の受け皿の確保が求められている。		整備した学童クラブについては予定どおりに開所することができ、高学年も含め待機児童の発生はなかった。
取組と改善点		今後の課題
令和3年度においては、小山小学校区第5おおたかの森ルームの新規施設整備を行う。 また、老朽化している流山小学校区第1おおぞら学童クラブのガスエアコンを更新する。		令和6年度開校予定の新設小学校に学童クラブを整備する必要がある。 また、一部施設に雨漏りが生じている。
取組結果		改善策
小山小学校区第5おおたかの森ルーム（定員160人）を整備した。 また、流山小学校区第1おおぞら学童クラブのガスエアコンを更新した。		令和6年度開校予定の新設小学校2校について、学童クラブを整備する。 また、雨漏りの生じている長崎小学校区ひよどり学童クラブの大規模改修を行う。

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
青少年主張大会運営事業	市内の各中学校、高等学校などの生徒・学生並びに青少年（18歳以下）から発表者を募集し、日頃考えていることなどを発表する場を提供する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	873 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>青少年の発表を多くの市民に聞いていただき、青少年への理解を深めていただくため、一般の来場者数を増やす必要がある。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度は中止となったが、感染症対策を講じ、無観客ながら開催できた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>令和3年10月1日、文化会館で「青少年主張大会」を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、会場内は無観客とし、市内各中学校にライブ配信を実施した。また、発表文集を作成し、各図書館、市役所情報公開コーナーなどに設置した。</p>		<p>一般の来場者が増えるよう、PR等での工夫が必要である。</p>
取組結果		改善策
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「高校生の部」は応募がなかった。「中学生の部」は、ライブ配信により、同年代の生徒に熱い思いを伝えることができた。 【発表者数】 ・中学生の部：9人</p>		<p>青少年主張大会の開催告知や発表文集の設置について、広報紙などで広く周知する。</p>

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
姉妹都市少年スポーツ交流事業	姉妹都市との交流及び青少年の健全育成を目的として、姉妹都市相互の試合会場で実施される少年スポーツ交流事業を支援する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	720 千円	評価に該当しない
現状と課題		評価理由
福島県相馬市との交流事業（野球、サッカー、剣道）は例年開催されているが、長野県信濃町、石川県能登町、岩手県北上市との交流を深める必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により実施がないため。
取組と改善点		今後の課題
広報ながれやま（4月21日号）及びホームページに当該事業に係る補助金交付の記事を掲載したが、新型コロナウイルス感染症の影響により応募団体はなかった。		相馬市以外の姉妹都市との交流事業及び補助金利用団体の拡充が必要である。
取組結果		改善策
新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。		各姉妹都市との交流を推進するため、広報ながれやま及びホームページに補助金交付の記事を掲載し、広く周知する。

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
青少年健全育成団体 運営事業	青少年健全育成事業を推進するため、市内で活動する健全育成団体を支援する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	2,804 千円	A
現状と課題	評価理由	
各団体の事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施する必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、感染症対策を講じながら、様々な事業を展開した青少年健全育成団体の活動に対し、継続した支援が実施できた。	
取組と改善点	今後の課題	
青少年健全育成団体に補助金を交付した。 【補助金交付額】 ・青少年育成会議 660,000円 ・青少年相談員連絡協議会 1,475,000円 返納額：882,409円 592,591円 ・ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 197,000円 ・子ども会育成連絡協議会 310,000円	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業を実施する必要がある。	
取組結果	改善策	
各団体による様々な事業が実施された。 【青少年育成会議】会員数（24団体） ・親子たこあげ大会、青少年健全育成推進大会、啓発活動など 【青少年相談員連絡協議会】会員数（69人） ・チャレンジゲームなど 【ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会】会員数（5団体） ・キャンプなど 【子ども会育成連絡協議会】会員数（118人） ・めぎせ！あそびの達人、書き初め大会など	各団体と連絡を密にしながら、事業を実施する。	

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
げんき村キャンプ場 運営管理事業	市民などが家族やグループで野外活動を楽しみ、青少年健全育成や健康増進に役立つ場を提供するため、キャンプ場の管理・運営を行う。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	1,219 千円	A
現状と課題	評価理由	
市民等に安全・快適に利用いただける施設の管理・運営が必要である。 【目標】 ・利用件数：200件	少人数の利用が増加傾向にあるが、前年度と比較して、利用件数・利用者数が増加した。	
取組と改善点	今後の課題	
キャンプ場内の草刈り、清掃、安全点検は業務委託により実施した。 令和3年7月、倒木の撤去及び台風等で落枝の恐れがある樹木の伐採を行い、安全な施設管理に努めた。	キャンプ場利用の増加に伴い、より安全かつ快適に利用いただけるよう施設を管理・運営する必要がある。	
取組結果	改善策	
新型コロナウイルス感染症の影響により利用制限した期間もあったが、利用日数・件数が増加した。 ・利用日数： 210日 （前年度： 182日） ・利用件数： 211件 （前年度： 156件） ・利用者数：1,278人 （前年度：1,049人）	利用者に、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を呼び掛ける。 業務委託の受託者との連絡を密にしながら、施設の管理・運営を行う。	

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
青少年関連団体補助事業	青少年指導センター補導員連絡協議会及び学校警察連絡協議会の2団体に対し活動を支援する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	3,107 千円	A
現状と課題	評価理由	
各団体が目的に沿った活動ができている。今後は特に、各団体の活動の充実が図れるよう、支援の仕方を工夫する必要がある。	青少年補導員連絡協議会については、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がある中、各々が配慮しながら、積極的な補導活動に努めた。また、第1回学校警察連絡協議会については、書面開催となったが、可能な限り情報交換の機会を作り、情報の共有ができるよう努めた。	
取組と改善点	今後の課題	
各団体の活動を支援するため、補助金を交付した。また、活動の遂行のために積極的な連携を図った。 【補助金交付額】 ・青少年補導員連絡協議会 465,000円 ・学校警察連絡協議会 120,000円	状況に応じて感染症対策を講じながら、情報交換や共有の機会を増やし、積極的な指導に努める必要がある。	
取組結果	改善策	
【青少年補導員連絡協議会】 ・補導員数：134人 ・補導活動の取組結果 実施回数：564回 （前年度：541回） 補導者数：275人 （前年度：145人） 【学校警察連絡協議会】 ・講演・研修会：3回	各団体で情報交換や共有が更に充実するよう、協議会の在り方を見直し、役員会や研修会の内容を充実させることで、青少年の健全育成に努める。	

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
青少年相談事業	青少年の健全育成及び非行防止を図るため、青少年やその保護者を対象とし、相談員による電話及び相談室での相談を実施する。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	4,906 千円	A
現状と課題	評価理由	
相談者が相談しやすい雰囲気づくりや、丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っているが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になることが多い。	様々な相談内容に対応できるよう、過年度の相談傾向を分析し、適切なアドバイス等を行った結果、ほとんどの相談が初回の対応で完結できた。 また、相談内容に応じて、関係諸機関を案内できた。	
取組と改善点	今後の課題	
ホームページや広報紙での相談窓口の紹介のほか、センターだよりへ相談案内を積極的に掲載し、相談窓口を広く周知した。	相談内容に応じて、関係諸機関を案内しているが、案内までに留まりがちである。相談者の悩みの解決に向け、確実に繋いでいけるよう関係諸機関との連携を強化していく必要がある。	
取組結果	改善策	
【相談件数】 ・学校関係：19件 ・家庭関係：8件 ・性問題：18件 ・健康問題：3件 ・その他：9件 合計：57件 （前年度：81件）	より多くの方が気軽に相談できるよう、相談活動の工夫に努める。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援を可能にする。	

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

事業名	事業内容	
青少年社会環境浄化事業	青少年の健全育成及び非行防止のため、青少年にとってよりよい社会環境の整備を行う。	
担当課	予算額	評価
生涯学習課	191 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>実行委員が主体性をもって活動に取り組む意識は育ってきたが、推進団体からの選出委員であることを踏まえ、連携を強化しながら、地域活動がより具体化するよう更に充実させる必要がある。</p>		<p>地区活動実行委員会の活動を通して、地域・家庭の教育力の向上について考え、保護者や市民への啓発活動の必要性を認識することができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>地区活動実行委員による店舗利用状況調査を実施し、その情報を委員で共有し、各中学校区で広報誌を作成・配布した。 また、講演会を実施し、活動の意義の理解と意識の向上を図った。</p>		<p>行政主導になりがちであり、地域主体の活動になっていない部分があった。</p>
取組結果		改善策
<p>有害図書の実態に関する店舗調査の結果、問題のある店舗はなかった。調査結果やアンケート内容を第3回の地区活動実行委員会で共有した。</p> <p>・店舗調査及び店舗利用状況調査 対象店舗数：99店</p>		<p>中学校区を中心とした、地域主体の活動の整備を充実させる。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教育委員会委員運営事業	教育に関する事務を管理及び執行するため、流山市教育委員会議定例会及び臨時会を開催し、教育行政運営の向上を図る。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	3,975 千円	A
現状と課題	評価理由	
<p>毎月1回定例会を開催し、条例や規則の改正、教育費予算のほか、流山市の教育の抱える課題等について議論している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症や多様化する教育現場における問題等を踏まえた議論を行う必要がある。</p>	<p>定例会計12回を滞りなく開催することができ、緊急性が高い案件に対して臨時会を開催し迅速に対応することができたため。また、教育現場の視察や講演会・研修会への参加を行ったことで、今後の教育行政について活発な議論が交わされた。</p>	
取組と改善点	今後の課題	
<p>新たに児童生徒の心身のケアや医療についての専門的知識を有する委員の意見を得るために、流山市教育委員会委員の定数を定める条例を新たに策定し、全体の委員数を1名追加して5名とした。</p> <p>【開催回数及び審議数】 定例会 12回 臨時会 1回 審議数 50件</p> <p>【教育現場視察】 おおぐろの森小学校 南流山小学校 東小学校 おおぐろの森中学校</p> <p>【講演会】 流山市教育研究会講演会 流山市教育委員会講演会</p> <p>【研修会】 GIGAスクール構想導入端末研修会 千葉県市町村教育委員会オンライン協議会 教育長・教育委員研修会</p>	<p>今後しばらく続く人口増、児童・生徒数の増加に対応できるよう、状況の変化に応じて教育現場の抱える問題、課題について、迅速かつ的確に把握する必要がある。</p>	
取組結果	改善策	
<p>教育委員会議において、新たに児童生徒の心身のケアや医療についての専門知識を有する委員が議論に加わり、多様化・複雑化する教育現場の問題に対し議論を重ねることができたほか、新設中学校開校に伴う通学区の設定、いじめや不登校などの現状の把握や課題の抽出、対策についての協議や、文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱の制定等様々な教育課題を抱えた各議案の議決を行うことができた。</p> <p>また、流山市教育委員会講演会では、大東市の教育長の講話を聴き、教育委員の活動の活性化を図った。</p>	<p>引き続き、積極的に教育現場の視察を行うとともに、教育委員会議において、人口の増加に伴う教育施設整備やICT教育の進捗状況をはじめとした様々な課題についての報告を適宜行うことで、教育現場の問題点や課題の把握に努め、先を見通した教育環境の整備、充実のため、更なる議論の活性化を図る。</p>	

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
文化・スポーツ振興事業	文化・スポーツ等の大会等に出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体に、奨励金を交付し、もって文化・スポーツの振興を図る。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	290 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>流山市文化・スポーツ等振興奨励金交付要綱に基づき、文化部門及びスポーツ部門において各種大会等に出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体に対して奨励金を交付している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、対象となる大会等の開催も限られている中で、開催状況の把握に努めていく必要がある。</p>		<p>奨励金の交付申請を流山市文化・スポーツ等振興奨励金交付要綱に基づき、適切に審査し、交付決定をすることができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>流山市文化・スポーツ等振興奨励金交付要綱に基づき、文化部門及びスポーツ部門の大会に出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体を対象に、審査会を実施し、奨励金の交付を行った。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、動画による審査が行われる等、大会の実施方法が多様化している。限られた大会や競技の中で、実施状況を適切に注視していく必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>【文化部門】 (個人) 全国大会 4件 (団体) 全国大会 1件</p> <p>【スポーツ部門】 (個人) 国際大会 1件 全国大会 6件 (団体) 国際大会 1件 全国大会 1件</p>		<p>対象者に適切に奨励金を交付するために、文化部門及びスポーツ部門担当課との連携を密にし、競技の開催状況の把握に努める。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
入学準備金貸付事業	高等学校又は、専修学校に入学するにあたり、入学準備金の調達が困難な保護者に対し入学準備金の貸付けを行い、もって教育の機会均等を図る。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	1,000 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>保護者からの申請により、その内容を審査し、入学準備金の貸付けを行う。 制度の内容や、手続きの方法について周知を図り、教育の機会均等を図ることが求められる。 未償還金の解消が課題となる。</p>		<p>入学準備金の貸付制度について市の広報やホームページ、窓口での案内に加え、各中学校への通知を行い、制度の内容について広く周知した。 また、家庭訪問、電話等で催告を行うことで未償還金の一部を解消することができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>三者面談や、進路説明会、保護者会に合わせて各中学校に案内を通知し、制度の周知を図るとともに、申請書類に、制度の内容や申請の流れをわかりやすくフロー図で表したものを添付した。 償還については、家庭訪問を実施したほか、催告や電話相談等を行い、未償還金の解消を図った。</p>		<p>事業は適正に実施されているが、保護者のそれぞれのニーズに合わせて、他の制度の活用についても案内をしていく必要がある。 また、貸付金の償還についてはその家庭の状況を踏まえた相談を実施し、計画的な返済ができるようその圧縮に向け工夫する必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>市の広報やホームページに掲載するとともに、各中学校に通知し、貸付制度の周知を行い、10件の問合せを受けた。 【問合せ件数】 10件 【申請件数】 0件 【貸付決定数】 0件 【受付期間】 R4.1.4～R4.3.4 【償還】 家庭訪問、電話等での催告を行い、未償還金の一部を解消することができた。</p>		<p>貸付制度について、他の制度の実施状況を把握する。併せて、他の自治体の制度を研究し、必要に応じて事業の在り方を見直す。 償還については、引き続き催告、電話連絡のほか、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ家庭訪問を行うなど、未償還金の解消を図る。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
校外学習バス運営事業	校外学習バス運行委託契約に基づき、バスの提供及び運行を行うことで、小学校等の児童等の校外学習における移動手段を確保し、総合的学習の一環とする社会科の地域学習の向上を図る。	
担当課	予算額	評価
教育総務課	9,488 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>小学校等の児童等の総合的学習の一環とする社会科の地域学習において、市内各施設の見学等を行う際の移動手段として、校外学習バスを用いている。</p> <p>児童生徒数の異なる各校の利用希望台数のすべてを確保し、各校の希望する日程での運行ができるよう調整することが課題となる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、適切な運行計画を立てる必要がある。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、市内小学校及び特別支援学級に対し、校外学習バスを運行することができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>各学校及びバス運行業者と連絡を密に取り、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、校外学習バスの運行を行った。</p> <p>小学校17校及び特別支援学級に対し、校外学習バスの運行を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、バス運行業者と協議のうえ実施を延期するなど感染症対策を徹底した。</p>		<p>児童数の増加に伴い、年々利用希望台数が増加しているため、予算の確保、日程調整が課題となっている。</p> <p>また、引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、感染の拡大時には、延期や中止を視野に入れた柔軟な対応が必要となる。</p>
取組結果		改善策
<p>【実施校数】 小学校 17校 特別支援学級（合同実施）</p> <p>【運行台数】 74台</p> <p>【キャンセル台数】 6台</p>		<p>利用台数の増加について、適切に予算を確保するとともに、学校からは複数の希望日を提示してもらう等、スムーズな事業運営に努める。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応については、学校及び委託業者と連携を密に取り、十分な対策を講じてバスの運行を行う。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
学校サポート教員派遣研究事業	学校サポート教員（学習サポート教員、指導員、算数数学学習指導員）を各学校に配置し、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への個に応じた指導や、授業での個別支援や習熟度別学習の補助等のきめ細かな指導を充実させる。	
担当課	予算額	評価
指導課	162,074 千円	A
現状と課題		評価理由
児童生徒数の増加に伴い、特に大規模校へは算数数学学習指導員の増員が必要である。また、支援を必要とする児童生徒の増加とともに、対応が多様化している。児童生徒一人一人のきめ細かな指導を充実させるためにも更なる人員の配置が必要である。		全小中学校に学校サポート教員を配置し、更に学校のニーズに応じて複数名配置することができたことで、支援を要する児童生徒にきめ細かな対応をすることができた。
取組と改善点		今後の課題
全小中学校に聞き取りを行い、支援を必要とする児童生徒の実態とニーズを把握し、状況に応じた学校サポート教員の配置を進めた。		児童生徒数の増加に伴い、支援を必要とする児童生徒の増加とともに、対応が多様化しているため、児童生徒一人一人のきめ細かな指導を充実させるためにも、更なる人員の配置が必要である。また、学校サポート教員のスキルアップを図っていく。
取組結果		改善策
学習サポート教員・指導員合わせて46人を確保し、そのいずれかを市内全小中学校に配置（大規模校には複数）し、算数数学学習指導員も、全校に1人ずつ（大規模校には複数）配置をした。各学校からの派遣希望（実態把握）による人員を配置したことで、通常学級における支援を要する児童・生徒の効果的なサポートにあたることができた。		全小中学校に聞き取りを行い、支援を必要とする児童生徒の実態とニーズを把握し、状況に応じた配置を進める。 学校サポート教員の更なるスキルアップのために、年に数回研修会を行う。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教育指導人材充実事業	教育支援委員会、義務教育人材活用、音楽鑑賞教室、小中学校日本語指導等、幅広い人材を活用し、学習指導に活かすことにより教育内容の資質向上を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	4,608 千円	A
現状と課題		評価理由
各校の実情に合わせ、計画的な人材活用を図るために、年間を見通した計画を策定する。		全小学校で邦楽鑑賞教室を実施することができた。 日本語指導の要望も高く、要望に合わせて指導者を派遣できた。
取組と改善点		今後の課題
学習等の学校支援につながる優れた地域人材の活用を、学校と連携しながら促した。		学校支援につながる人材の活用状況を把握し、効果的な活用を図る。 学校と連携を図りながら、日本語指導が必要な児童生徒を把握し、一人一人に合った指導について検討していく。
取組結果		改善策
様々な分野の人材を活用することにより、日常の学習や活動では得ることができない専門的な指導を受けることができた。全小学校で邦楽鑑賞教室を実施することができた。		学校支援につながる人材の活用状況を把握するとともに、効果的な活用ができるよう学校と連携を取りながら推進していく。 日本語指導については児童生徒の状況を見ながら、指導時期や方法について今後も検討していく。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
中学校ALT配置事業	外国語指導助手（ALT）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図る。学校生活の中で生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	36,285 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>生徒のコミュニケーション力の向上のためにALT自身の指導力向上を図り、英語科教員と、効果的なチームティーチングが実施できるようにする。</p> <p>小・中のつながりを意識した外国語教育の充実を図る。</p>		<p>コロナ禍ではあるものの、中学校ALT研修会を計画どおり開催することができた。互いの授業から意見交換をし、話し合いを深めることができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>中学校全ALTの授業を参観し、指導助言を行うことで指導力向上を図った。</p> <p>小中連携を活かした外国語教育の充実を図るために、中学校ALT研修会を行った。</p>		<p>中学校ALT自身の指導力向上を図るとともに、英語科教員と効果的なチームティーチングが実施できるように、更なる質の向上を目指す。</p> <p>小・中のつながりを意識した外国語教育の更なる充実を図る。</p>
取組結果		改善策
<p>中学校全ALTの授業を参観し、指導助言を行った。</p> <p>ALTの勤務状況を学校長が評価した。</p> <p>中学校ALT研修開催数 1回</p>		<p>今後も継続して、ALTの授業を参観し、指導助言を行っていく。</p> <p>小中学校ALTと英語科教員の合同研修を開催し、効果的なチームティーチングが実施できるように指導力の向上を図っていく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、ボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	7,513 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>中学校区ごとに設置している地域学校協働本部の学校支援コーディネーターがボランティアと学校をつないでいる。</p> <p>令和3年度より2中学校区でコミュニティ・スクールを新たに導入し、地域による学校支援のさらなる拡充を図るため、現在ある人的・物質的資源を有効に活用し学校と地域の連携を更に深めていくことが課題である。</p>		<p>地域学校協働本部が各中学校区において、様々な活動を展開することができ、地域の力を学校の教育活動に活かすことができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>学校支援コーディネーターが地域の人材を開拓し、学校支援ボランティアとして学校と地域をつないだ。</p> <p>学校支援コーディネーターの交流会を行い、互いの活動の報告とともに、活動の幅を広げた。</p>		<p>現在、学校支援コーディネーターを中心に地域学校協働活動を行っているが、地域と学校の真のニーズを共有することが今後の課題である。</p>
取組結果		改善策
<p>学校と学校支援コーディネーターは、学期に1度、会議を開催することで、学校の教育活動の手助けとなる支援を行うことができた。</p> <p>また、千葉県が主催する研修に参加することで、他地域の活動を学ぶことができた。</p>		<p>令和3年度よりコミュニティ・スクールを導入し、今年度も更に2中学校区で導入していくので、地域と学校が目標やビジョンを共有し、効率的かつ継続的な協働活動の更なる発展を目指していく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
流山市部活動支援事業	「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をもとに、部活動指導員を配置し、部活動の更なる活性化と教職員の働き方改革を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	6,567 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>学校の顧問と外部指導員が密に連携をとり、状況を把握することが生徒の成長につながることで、その時間を確保することが課題である。</p>		<p>教員が授業の準備及び生徒と向き合う時間を確保ができたこと、専門的な知識、技術を持っている指導員の指導により、生徒の技術が向上したことなどが挙げられる。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>外部指導員は令和元年度と令和2年度は、中学校2校8部活、令和3年度は、中学校3校12部活に配置した。</p> <p>実際に練習等の開始前、終了後に顧問、外部指導員で時間を確保し情報共有を行った。</p> <p>また、部活動に関するアンケートを実施した。</p>		<p>今後、より多くの中学校に配置することで、さらに多くの生徒が専門的な知識、技術を持っている指導員の指導を受けられる。教員も多くの時間を確保することが見込め、働き方改革につながる良さを検証し、事業を推進していきたい。</p>
取組結果		改善策
<p>外部指導員と顧問の役割を共通理解し、生徒に指導することで、生徒の成長につながった。</p> <p>アンケート結果によると、「今まで部活動指導に充てていた時間を授業準備の時間とすることができたため、授業が充実した。」「生徒と向き合う時間を確保することができた。」「専門的な知識、技術を持っている指導員の指導により、生徒の技術が向上した」などが挙げられた。</p>		<p>今後も部活動外部指導員の効果を見据え、推進していく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努める。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置する。	
担当課	予算額	評価
指導課	17,860 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>学校図書館司書を小中学校校合わせ、令和元年度は8人、令和2年度は12人、令和3年度は13人に増員しているが、経験の浅い学校図書館司書がいるのでスキルアップが必要である。</p> <p>小学生においては、貸出冊数が伸びているものの、読まれる本の分類に偏りがある。幅広く本に親しませる工夫を凝らす必要がある。</p> <p>学校図書館資料の積極的な刷新が課題である。</p>		<p>年度はじめに全学年において図書館利用に関するオリエンテーションを実施したことにより、学校図書館の利用方法について理解が深まった。小学校においては、読まれる本の分類に偏りがあるため、学校図書館を読書センターのみでなく学習・情報センターとしての役割として利用されるような働きかけがなされたことで、幅広く本に親しむことにつながった。学校図書館司書が配置されたことにより、学習支援や読書推進活動等に係る各学校の司書教諭への働きかけが活発に行われた。このことにより児童の読書活動が推進され、貸出冊数が増加した。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>経験の浅い学校図書館司書に指導・助言する学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校で読書活動が推進された。また、年に5回、研修を実施し、学校図書館司書全員のスキルの向上を図った。</p>		<p>学校図書館司書の活用の推進をより図ることを鑑み、「2校に1人」配置から大規模校から順に、勤務日数や時数の拡充を目指す。また、読書活動のさらなる推進に向け、学校図書館資料の充実や環境整備等、学校図書館に求められていることを明確にし、研修に盛り込み、司書のスキルアップを図っていく。</p>
取組結果		改善策
<p>学校図書館司書が配置され、日常の学校図書館管理業務だけでなく、学習支援や読書推進活動により、児童の読書活動が推進された。貸出冊数も増加している。</p> <p>学校図書館司書の研修を実施し、スキルの向上を図ったことで、学級担任への支援の質が向上した。例えば、授業者のニーズを把握し、単元のテーマに沿った本を多数用意したり、専門的な知識をもとに、レファレンス（図書の紹介）をしたりなど、積極的な働きかけが促進された。</p>		<p>学校の規模や今後の新設校開校を見据え、学校図書館司書の更なる活動の充実に推進していくとともに、司書のスキルアップのため、年に数回の研修を行う。</p> <p>各学校の特色ある取り組み等を共有することで、さらなる読書活動の推進、学校図書館の充実に努めていく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努める。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置する。	
担当課	予算額	評価
指導課	12,535 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>学校図書館司書を小中合わせ、令和元年度は8人、令和2年度は12人、令和3年度は13人に増員しているが、経験の浅い学校図書館司書がいるのでスキルアップが必要である。</p> <p>中学生の読書離れが課題である。読書活動推進に係る取り組みを実態に合わせて行う必要がある。</p> <p>学校図書館資料の積極的な刷新が課題である。</p>		<p>学校図書館司書の支援を受けながら年度はじめに、中学校1年生を中心に図書館利用に関するオリエンテーションを実施した。中学校においては、図書館利用、貸出冊数に課題があるため、改善に向け、各学校で工夫を凝らした取り組みがなされたことにより、一人当たりの年間貸出冊数が少しずつ増加している。学校図書館司書が配置され、司書教諭への働きかけが活発に行われたことにより、学習支援や読書推進活動が活性化され、各学校の読書活動が推進された。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>経験の浅い学校図書館司書に指導・助言する学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校で読書活動が推進された。また、年に5年度回、研修を実施し、学校図書館司書全員のスキルの向上を図った。</p>		<p>学校図書館司書の活用の推進をより図ることを鑑み、「2校に1人」配置から大規模校から順に、勤務日数や時数の拡充を目指す。また、学校図書館資料の充実や環境整備等、学校図書館に求められていることを明確にし、研修に盛り込み、司書のスキルアップを図っていく。</p> <p>読書活動のさらなる推進に向け、課題をひとつずつ明確にし、取り組んでいく必要がある。まずは、学校図書館を利用する機会を増やし、本を身近に感じることで読書に親しむ意欲を育てていきたい。</p>
取組結果		改善策
<p>学校図書館司書が配置され、日常の学校図書館管理業務だけでなく、学習支援や読書推進活動により、生徒の読書活動が推進された。貸出冊数も増加している。</p> <p>学校図書館司書の研修を実施し、スキルの向上を図ったことで、学校図書館司書による教科担任への支援の質が向上した。中学校においては、国語科への支援に偏りがちだが、社会科や総合的な学習の時間等の探求型学習へ支援を行う学校が増えてきている。</p>		<p>学校図書館司書の更なる活動の充実を推進していくとともに、司書のスキルアップのため、年に数回の研修を行う。</p> <p>中学生の生活に読書が溶け込むように、すでに各学校が工夫を凝らして行っている取り組みを積極的に集約・発信し、良い事例の共有を図る。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
学校教育内容充実事業	児童生徒の表彰、音楽発表会実施、教育広報や教育要覧の作成、教育刊行物の購入、キャリア教育の推進、学校の研究と修養の支援などを通して教員の意識・指導技術を高め、教育の資質向上を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	5,817 千円	B
現状と課題		評価理由
児童生徒の多方面での力を伸長するための職場体験学習、作品展、音楽発表会等の事業を実施する。実施した様子を保護者や地域の方に周知する。		教育広報等で児童生徒の活動を地域に情報発信することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験学習や音楽発表会等が中止となったため。
取組と改善点		今後の課題
事業の実施の様子を周知するため、教育広報「教育ながれやま」の内容の充実を図った。職場体験学習や音楽発表会等は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、令和3年度は中止した。職場体験に代わり、職業人講話等を各学校で行うよう働きかけた。		教育広報の内容充実に努めるとともに、児童生徒数の増加に対応し、発行部数も増やしていく必要がある。職場体験や職業人講話のねらいや体験後の児童生徒の変容を各事業所に伝える等、今後も連携を深める必要がある。
取組結果		改善策
教育広報で、事業の内容を積極的に発信した。職場体験学習や職業人講話の協力事業所を引き続き確保するために働きかけを行った。 【教育ながれやま】 年3回 各18,500部発行		児童生徒の活躍を積極的に保護者や地域の方々に周知する。研究指定校での活動や、研究内容を他校に広げ、教員の資質向上を進める。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教育研修推進事業	指導技術や専門的知識を学ぶ教職員研修等の充実を図ることにより、教職員の指導力の向上及び教育内容の質的向上を図る。様々な教育活動の運営をサポートする。	
担当課	予算額	評価
指導課	708 千円	A
現状と課題		評価理由
教職員の指導力の向上を図るために、日々の指導に役立つ実践的な研修を実施する。		教職員の指導力向上を図るため、目的に応じた講師を招き、効果的な研修を行うことができたため。
取組と改善点		今後の課題
学習指導要領に対応した内容や今日的な課題に対応した内容を研修に取り入れた研修計画を作成した。また、各種研修会において、目的に応じた講師を招へいし、効果的な研修を実施した。		年々、若年層教職員が増加していることや学校を取り巻く課題が多様化していることから、実践力の向上を目指す研修を行う。
取組結果		改善策
<p>生徒指導や道徳教育等、今日的な課題に対応した研修内容を検討し、講師を招へいした。</p> <p>若年層教職員や経験年数の浅い教職員を対象とした研修「教師力アップ講座」の充実を図ることができた。</p> <p>【教師力アップ講座】 参加登録者126人 全4回</p>		今日的な課題や現場のニーズを把握して取り入れ、実践的な指導力が身につけられるように研修の充実を図る。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
総合的な学習の時間推進事業	総合的な学習の時間の充実のため、教材等の充実を図り、各学校の特色ある教育の推進を支援する。	
担当課	予算額	評価
指導課	1,280 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>教材等の費用として、小中学校（特別支援学級含む）に支援することにより、子どもたちの探求学習や体験内容の充実が図られた。</p> <p>子どもたちの実態に応じ、学校の創意工夫を生かした活動を展開する。</p>		<p>地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学習を進めるための教材整備を進め、子どもたち一人一人が自ら学び考える力を育成することができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>小中学校の全ての学級が、創意工夫を生かした活動が展開できるように学級数を把握し、教材等の費用を配分した。</p>		<p>総合的な学習の時間の充実のために、教材等の充実だけではなく、より効果的な学習となるように指導力の向上を図る必要がある。また、指導力の向上のため、外部講師の招へいも必要である。</p>
取組結果		改善策
<p>教材等の費用として、小中学校（特別支援学級含む）に支援することにより、子どもたちの探求学習や体験内容の充実が図られた。</p>		<p>各学校で創意工夫し、子どもや地域の実態に応じた学習が展開できるよう、学校訪問での指導や研修会を通して指導力の向上に努める。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教師用教科書・指導書・副読本購入事業	教科指導の充実のために教師用教科書・指導書等を整備する。 小学3年生、中学1年生に「社会科副読本」を配布する。	
担当課	予算額	評価
指導課	16,766 千円	A
現状と課題		評価理由
児童生徒数の増加及び新設校への対応をする必要がある。		必要数の教師用教科書・指導書を配布することで、各学校における教育活動を遅滞なく、スムーズに行うことができたため。
取組と改善点		今後の課題
教師用の不足分の教科書及び、社会科副読本を配布した。また、新設小学校分の教科書・指導書を購入した。また、児童生徒推計から購入数を計画した。		各校で必要な教科書・指導書を確実に準備すること。また、新学習指導要領に対応した中学校社会科副読本を作成すること。
取組結果		改善策
教育活動に支障なく、教師用の教科書・指導書を配付することができた。また、学習指導要領に対応した、小学校社会科副読本を作成した。		各校の開設学級数および配置職員数から必要数を計算し、準備する。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
情操教育推進事業	学校が意図的・計画的に企画する音楽鑑賞、観劇等を通し、児童生徒の情操を養い、豊かな心情を養えるように支援する。	
担当課	予算額	評価
指導課	2,101 千円	B
現状と課題		評価理由
<p>児童生徒が楽しみにしている学校行事の一つとなっている。児童生徒にとって楽しい活動であることも大切であるが、同時に児童生徒の道徳的な社会的価値観を高めることができるよう事業内容を充実させる必要がある。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得ない学校もみられたため。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>本物の芸術に触れることができる劇団、楽団を紹介したり、これまでの取組などを伝える等、支援をより充実させた。</p>		<p>引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら実施を検討する必要がある。また、感染防止対策と情操教育の両立を目指し希望する学校が事業内容を充実させていく必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>今年度は観劇6校、音楽鑑賞5校、計11校にて実施した。いずれも、児童生徒に感動を与え、音楽や芸術への興味関心を高める取組となった。</p>		<p>各学校の活用状況を考慮し、多くの児童生徒が芸術に触れることができるよう、事業内容や情操教育の目的等について学校に周知を行う。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
ICT学習空間整備事業	市内小中学校にコンピュータやインターネット環境を整備し、学習等で活用できるようにすることにより、社会の変化に対応した学校教育を推進する。	
担当課	予算額	評価
指導課	432,751 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>児童生徒用タブレット型PCの整備率100%（1人1台）を目標とする。また、校内無線LAN環境については全校整備済みである。</p> <p>課題としては、多数の児童生徒が一度に使用する際に通信が滞り、PCのアプリが使用できなくなる事象が発生していることが挙げられる。</p>		校内無線LAN環境の整備を全ての小中学校で実施できたため。また、全ての児童生徒に児童生徒用タブレット型PCの整備をすることができたため。
取組と改善点		今後の課題
<p>流山市GIGAスクール構想を策定し、校内無線LAN整備、児童生徒1人に1台の児童生徒用タブレット型PCの整備のほか、プロジェクトなどのICT機器整備を行った。</p> <p>改善点としては、児童生徒用タブレット型PCを授業で活用できる教職員のスキルの向上を図る研修機会の確保やタブレット型PCの市内各小中学校への取扱いに関する啓発である。</p>		<p>課題としては、児童生徒用タブレット型PCを授業で活用できる教職員のスキルの向上やICT機器の環境整備。</p> <p>また、児童・生徒の増加を含めたタブレット端末の保守・管理への対応。</p>
取組結果		改善策
<p>全ての小中学校に校内無線LAN環境が整備された。また、児童生徒1人に1台のタブレット型PCが配付され、整備率100%を達成した。</p> <p>教職員の研修については、授業でのタブレット端末の活用方法について、集合研修を数回実施した。</p>		<p>流山市GIGAスクール構想を実現するため、今年度（令和3年度）に、民間企業と業務委託を締結した。今後も児童生徒用タブレット型PCの保守や管理、ヘルプデスクの構築、ICT支援員による教職員への支援、校務系と学習系ネットワーク連携の構築などを実施していく。</p> <p>校内のネットワーク環境についても、増強工事を行い、通信環境の改善に取り組んでいく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
幼児教育支援センター運営事業	保幼小関連教育研究会を実施し、幼児教育から学校教育への円滑な移行を支援する。 教職員を対象に、電話や来所による相談、巡回相談を実施している。 家庭や園における就学前教育を推進する。	
担当課	予算額	評価
指導課	8,161 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>年間3回の保幼小関連教育研究会及び小学校、幼稚園・保育所（園）、認定こども園見学会を計画している。</p> <p>また、巡回相談や、電話や来所による相談を実施した。園数が増加し、スムーズな相談や支援を行うことが必要である。</p>		<p>保幼小における円滑な接続のための各校・各園の接続期のカリキュラム作成や、大学教授を招へいしての講演会などを実施することができた。</p> <p>また、増設された保育園等にも案内し、より多くの施設と連携を深めることができた。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回保幼小関連教育研究会を書面開催とした。また、小学校、幼稚園・保育所（園）等見学会を中止した。</p> <p>その他の研究会は予定どおり実施し、カリキュラムの接続についての研修や就学における情報交換をすることができた。</p>		<p>園数の増加に伴い、接続期の子どもたちに向けた適切な相談体制の構築が必要である。</p> <p>また、教育的ニーズが多様化していることから、カリキュラムの接続に加え、一人一人に応じた支援の在り方についても研修を深めていく必要がある。</p>
取組結果		改善策
<p>第1回保幼小関連教育研究会は書面開催とし、接続期のカリキュラム作成に取り組んだ。</p> <p>【第2回保幼小関連教育研究会】 参加者68人</p> <p>【第3回保幼小関連教育研究会】 参加者80人</p> <p>幼児の保護者への相談、また要請のあった園への訪問・巡回相談を実施した。</p> <p>【年間相談件数】 118件（巡回・訪問・電話・来所含む）</p>		<p>巡回相談、電話や来所による相談の対象を、就学前5歳児の保護者や教職員とすることで、円滑な接続の支援を行っていく。</p> <p>第3回保幼小関連教育研究会に参加を希望する療育支援施設にも加わっていただき、関係機関とも連携を深める。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
特別支援教育推進事業	知的障害や情緒障害、発達障害、言語障害、肢体不自由などの理由により、特別な支援が必要な児童生徒に対して、継続的に関係機関と連携して支援を行う。 関係機関が、相互に共通理解を深め、よりよい支援ができるように研修の充実を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	8,721 千円	A
現状と課題		評価理由
一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るため、個別サポートファイルを配付することで切れ目のない支援を行っている。		感染症拡大防止の観点から、昨年度は講師を招へいしての研修会を実施することができなかったため、書面による研修会を実施した。 就学相談を丁寧に行ってきた。
取組と改善点		今後の課題
就学相談を丁寧に行うため、スクールカウンセラーによる検査の実施を行っている。 市内の特別支援学級の児童生徒による合同交流会を感染症対策を行いながら実施した。		就学相談件数が増え、教育的ニーズも高まっていることから、就学相談の円滑な進め方を見直して行く必要がある。特別支援教育への専門性と指導力向上を学校と連携しながら進めていくことが必要である。
取組結果		改善策
丁寧な就学相談を行うことで、ほぼ全ての相談で保護者の希望の就学につなげることができた。（令和3年度相談件数413件） 合同交流会を行うことで、他校の児童との交流を持つことができた。		流山市就学説明会を広く市民に周知し、教育委員会で就学相談を実施する。 就学相談を希望している保護者の思いを大切にしながら丁寧に進めていく。 特別支援学級担任及び通級指導教室担当者の専門性と指導力向上を図るため、研修を進めていく。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教育用インターネット活用推進事業	インターネットの活用を推進し、情報活用能力の育成を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	17,979 千円	A
現状と課題		評価理由
1校あたり、1度につき120台程度の児童生徒用タブレット型PCの接続にとどまり、全校児童生徒が同時に接続することができないため、市内小中学校のインターネット回線の増強が必要である。		インターネット回線について、現状から見えた改善点、次年度へ向けた課題が明確になったため。
取組と改善点		今後の課題
モデル校を流山小（規模約1,000人）としてネットワーク増強工事を先行実施した。		インターネット回線の改善が必要である。モデル校でのネットワーク増強による改善傾向に鑑み、市内小中学校に同様の施工を行っていく必要がある。
取組結果		改善策
モデル校において、児童生徒用タブレット型PCのインターネット回線への接続率が19%から100%に改善し、全校児童のタブレット型PCによるネットワークへの同時接続することができるようになった。		市内の全小中学校を対象としてネットワーク増強工事を実施していく。 業者との業務委託の中で、令和4年度2学期からの本格運用を目指し、夏期のネットワーク構築工事について具体的なスケジュール等を検討していく。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
教育研究企画室 運営管理事業	教育相談窓口、教育支援センターを開設し、相談員や指導員、スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケアを図る。また、不登校児童生徒の学習・生活への適応指導、生活指導等のコーディネートを行い、児童生徒の社会的自立を図るようにする。	
担当課	予算額	評価
指導課	19,092 千円	A
現状と課題		評価理由
相談内容が多岐にわたることから、関係機関との連携を図りながら対応を進めていく。また、不登校に関する相談内容が一番多いことから、教育支援センター運営の充実も図る。		各学校と連携し、学習支援、生活支援を進め、教育支援センターから学校復帰へつなげることや社会的自立へ向けた取組ができた。教育相談については、保護者、児童生徒の主訴に応じて、学校だけでなく、必要な関係機関と連携を図りながら適切に対応できた。
取組と改善点		今後の課題
相談対応をさらに充実させるため、スクールカウンセラーの勤務日数を30日分増やした。 また、不登校児童生徒の支援の充実を図るため、「フレンドステーション しんかわ」の開設計画を進めた。		相談内容が多様化している中、児童生徒、保護者の不安感に寄り添った専門的な対応が必要である。併せて、教育支援センター通級児童生徒の自立に向けた取組も重要である。それぞれの解決に向け、学校や関係機関との連携を更に進めていく必要がある。
取組結果		改善策
電話相談 979件（前年度 755件） 来所相談 1,045件（前年度 834件） 教育支援センター通級児童生徒 21人（見学・体験含むと53人） 通級していた中学3年生は全員進学することができた。		教育広報「教育ながれやま」、各種リーフレット、研修等で教育相談機関について周知する。 教育相談が充実して行えるよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、関係部局等とのスムーズな連携を図る。 フレンドステーション しんかわの開設を通し、より不登校支援を充実させる。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
体力向上推進事業	健康増進や体力向上を目的とした行事や講習会を主催、支援する。 流山市小中学校体育連盟の活動を支援する。 生涯体育・スポーツに関わる意識を培う。	
担当課	予算額	評価
指導課	5,751 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>体育的行事等をより充実させていくために若手教員の育成が課題である。</p> <p>小中学校体育連盟を支援し、大会運営を通して、児童生徒の体力、技術力の向上に努める必要がある。</p>		<p>コロナ禍においても、各研修等、参加者の意識も高く、充実した事業になっている。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>若手教員を含めた指導者の児童生徒への指導力向上、機器の準備や取扱い、審判などの技術力向上を確実に進めるために有効な講習会等を計画し、改善を図った。</p>		<p>コロナ禍において、どのような取組が工夫してできるかを積極的に考え、計画的に進めていく必要がある。研修の内容を精選して充実させることが課題である。</p>
取組結果		改善策
<p>コロナ禍のため研修等が集まってできない中、eラーニング研修を行い、専門的な知識理解に深めた。</p> <p>小学校陸上大会では、新記録が生まれるなど充実した大会となった。</p>		<p>学校現場の実態を把握するためのアンケートやデータを集めて、実態に合った研修を教職員に行うことで、児童生徒の体力・技術力向上に反映できるように指導していく。</p>

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
児童生徒大会派遣事務事業	市内小中学校の文化・スポーツの振興と資質・能力の向上を図るため、県大会以上の大会・コンクールへの参加を支援する。	
担当課	予算額	評価
指導課	3,052 千円	A
現状と課題		評価理由
小中学校体育連盟や各学校との連携を図り、速やかかつ的確に出場状況を把握する必要がある。		小中学校体育連盟や各学校と連携を図りながら大会派遣事業を行うことができた。
取組と改善点		今後の課題
県大会以上の大会、コンクールへの児童生徒の出場状況を的確に把握するよう、各学校及び小中学校体育連盟との連絡を密にするよう努めた。		大会派遣について、学校に伝えるべき内容がより具体的かつ迅速に伝えられるよう小中学校体育連盟事務局を指導する。
取組結果		改善策
各学校、小中学校体育連盟と連携し、出場状況を的確に把握し、大会派遣補助金の要綱に基づき、体育的活動、文化的活動の全ての大会派遣について適切に補助することができた。		各学校や小中学校体育連盟との連携をより一層図り、業務を速やかかつ綿密に進める。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
オリンピックパラリンピック教育推進事業	スポーツ庁による委託事業で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国際的な視野をもって世界の平和に貢献できる人材の育成を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	140 千円	A
現状と課題		評価理由
事前・事後の学習を充実させることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。また、推進校の取組を、市内の学校にも広げ、更なる推進を図る必要がある。		コロナ禍でも、推進校は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業推進に取り組んだ。
取組と改善点		今後の課題
小山小学校、常盤松中学校において、講師を招いてオリンピック・パラリンピック教育について講演会や体験授業を行った。		東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて実施してきたことを、今後どのように活かして行くかということが課題である。
取組結果		改善策
推進校では、オリンピック・パラリンピックの取組について理解を深めた。 体験授業等を通して、障害を持った方と接する機会とし、障害者スポーツへの理解を深めることができた。		千葉県の施策を十分に理解し、県の関係機関と十分に連携をとっていくことが重要である。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

事業名	事業内容	
小学校英語活動推進事業	小学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国語の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置する。3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図る。	
担当課	予算額	評価
指導課	54,682 千円	A
現状と課題		評価理由
学習指導要領に沿って、外国語（活動）の教材の活用について研修を通して理解を深めるとともに、学級担任との効果的なチームティーチングについても、更に研修を充実させることが必要である。		英語活動指導員、小学校ALTを効果的に活用するための体制を整え、研修内容を充実させることができた。
取組と改善点		今後の課題
人的配置を整えるとともに、外国語教育の方向性や指導の在り方等について、資料を配付し周知を図った。 全ALTの授業を参観し、指導助言を行い、勤務状況を確認した。ALT研修会にて、学級担任との効果的なチームティーチングについて研修内容を充実させ、各小学校の実践に生かすことができた。		大規模校の学級増の対応として、人的配置を増やしていくとともに、効果的なチームティーチングを行っていくための、研修を更に充実させていく。
取組結果		改善策
小学校ALTを2校に1人の割合で配置した。英語活動指導員を1校に1人の割合で配置した。 大規模校においては複数配置した。 【ALT研修会開催数】 1回 英語活動指導員、ALTの勤務状況を学校長が評価した。		大規模校への対応として、英語活動指導員の複数配置や、ALTを1校1名配置等、人的配置を整える。 学級担任との効果的なチームティーチングを行うために、今後も継続して研修を実施していく。

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
学校施設建設支援事業	児童数の増加に対応するため、学校施設建設等事業のうち、(仮称)市野谷小学校の新設及び、南流山中学校の移転について、経験豊富な建築技師を有する民間企業に業務の支援を委託する。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	40,000 千円	A
現状と課題		評価理由
令和6年4月の開校に向けて実施設計の策定が必要である。		概ね当初の予定どおりのスケジュールで、令和3年度を終えた。
取組と改善点		今後の課題
受託者と綿密な調整を要する。		令和4年度から、工事の着工を予定しているため、実施設計の策定に向けて、受託者との更なる協議が必要になる。
取組結果		改善策
パブリックコメントの実施を経て基本設計を策定し、実施設計の策定に着手できた。		引き続き、リモート協議も採用して適宜に支援を受ける。
事業名	事業内容	
小学校PCB混入電気機器改修事業	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適切な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、校内にあるPCB混入電気機器を処理するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	1,302 千円	A
現状と課題		評価理由
流山小学校及び新川小学校が処理対象校である。		適正に処理されたことを確認した。
取組と改善点		今後の課題
廃棄物処理業務委託による。		本件をもって、全ての学校のPCBの処理が完了した。
取組結果		改善策
処理可能業者と業務委託を締結した。		事業完了のため、特になし

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
小学校校舎等改修事業 中学校校舎等改修事業	校舎、屋内運動場等の施設について、経年劣化等により支障をきたしている箇所を改修する。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	3,800 千円	A
現状と課題		評価理由
改修・更新が必要な施設や設備は複数箇所あるが、全てに対応することは困難である。		令和2年度繰越事業を期限内に完了できた。
取組と改善点		今後の課題
現状を把握して、実情に即した改修及び更新とする。		大規模な改修となる前に、劣化度を見極めて対応する必要がある。
取組結果		改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・西深井小学校外壁改修 ・流山小学校他教室改修 ・流山小学校他空調設備設置工事 ・北部中学校トイレ改修 ・北部中学校EV増築 他		状況は日々変化するため、日常の点検による把握に努める。

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
小学校新型コロナウイルス感染症対策事業 中学校新型コロナウイルス感染症対策事業	学校トイレにおける床のドライ化、便器の洋式化、手洗い場の自動水栓化及び、トイレ以外の蛇口をレバーハンドルにして感染防止に努める。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	0 千円	A
現状と課題		評価理由
感染症拡大防止に向け早急な対策が求められる。		居ながら施工となったが、十分な対策で円滑に実施できた。児童生徒からも改善されたトイレに対する喜びの声も寄せられた。
取組と改善点		今後の課題
令和2年度からの繰越事業として進めた。		新たな感染症対策が求められれば検討する。
取組結果		改善策
予定していた工程のとおり、完了することができた。		感染症対策の情報収集を継続する。
事業名	事業内容	
新市街地地区小学校建設事業 新市街地地区中学校建設事業	平成27年4月に開校した「おおたかの森小・中学校」の施設を譲渡契約に基づき、令和16年度まで分割で支払うもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	84,233 千円	A
現状と課題		評価理由
独立行政法人都市再生機構への支払を行う。		計画のとおり執行した。
取組と改善点		今後の課題
特になし		特になし
取組結果		改善策
特になし		特になし

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
新市街地地区小学校 用地取得事業 新市街地地区中学校 用地取得事業	平成27年4月に開校した「おおたかの森小・中学校」の用地を、令和15年度まで分割で支払うもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	3,822 千円	A
現状と課題		評価理由
独立行政法人都市再生機構への支払を行う。		計画のとおりに執行した。
取組と改善点		今後の課題
特になし		特になし
取組結果		改善策
特になし		特になし
事業名	事業内容	
小学校設備改修事業 中学校設備改修事業	消防設備点検により指摘された不良箇所等を改修して、安全を確保する。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	4,749 千円	A
現状と課題		評価理由
経年劣化や機器の更新等、指摘箇所が複数ある。		優先順位を考慮して、適切な改修ができた。
取組と改善点		今後の課題
点検結果を踏まえて早期改修を実施する。		児童生徒の安全を確保する上で、最優先事業として予算を確保する必要がある。
取組結果		改善策
迅速な修繕対応ができた。		突発的な事案については、予備費の充当も手段として検討する。

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
八木北小学校校舎等 建設事業	八木北小学校区での児童数増加に対応するため、令和2年度に校舎を増築し、続いて、令和3年度に屋内運動場を増築するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	10,820 千円	A
現状と課題		評価理由
継続・繰越事業としての実施で、学校運営への影響が長期間になる。		外構工事の一部について、新たに発生した問題についても、対応の段取りを組めた。
取組と改善点		今後の課題
監理者、施工者、学校と綿密な調整を実施した。		外構工事の一部について、速やかに完了して安全を確保する必要がある。
取組結果		改善策
学校の協力を得て、安全に工事を進めることができた。		施工者との協議を適宜に実施する。
事業名	事業内容	
新設小学校建設事業	おおたかの森小学校区及び小山小学校区の児童数増加に対応するため、令和2年度中に「おおぐろの森小学校」を建設したが、一部の工事を令和3年度に繰越したもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	15,724 千円	A
現状と課題		評価理由
工期を延伸した外構工事の一部について、速やかに終える必要がある。		延伸していた外構工事は令和3年8月に完了した。
取組と改善点		今後の課題
グラウンドの使用制限は学校運営にも影響があるため、十分な協議が必要になる。		開校後は他校同様に施設の適正管理に努める。
取組結果		改善策
学校の理解と協力を得て、代替地での体育活動としてもらった。		新設校ならではの運用上の改善点について、注視していく。

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて（仮称）市野谷小学校を建設する。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	99,990 千円	A
現状と課題		評価理由
令和6年4月の開校に向けて実施設計の策定が必要である。		開校に向けた工程は予定どおりに進めることができている。
取組と改善点		今後の課題
市民参加条例に基づいた、パブリックコメントの実施を経て、基本設計を策定した。		令和4年度からは、建築工事を予定しているため、遅滞なく工程を管理する。
取組結果		改善策
実施設計の策定に着手することができた。		関係者との十分な協議を適宜に実施する。
事業名	事業内容	
小山小学校校舎等建設用地取得事業	小山小学校の建設用地を、新市街地地区土地区画整理事業による清算金対応として、分割で支払って取得するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	103,738 千円	A
現状と課題		評価理由
独立行政法人都市再生機構への支払を行う。		計画のとおりには執行した。
取組と改善点		今後の課題
特になし		特になし
取組結果		改善策
特になし		特になし

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
新設中学校建設事業	おおぐろの森小学校の開校及び、小山小学校の児童数増加により、進学先となる中学校の需要増に対応するため、令和3年度中に「おおぐろの森中学校」を建設したものの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	4,700,667 千円	A
現状と課題		評価理由
令和4年4月の開校に遅れを生じさせないように工程管理をする必要がある。		令和3年度中に、建設を終えて開校することができた。
取組と改善点		今後の課題
施工中に発生する諸問題を、速やかに解決し、工事の短縮を図った。		開校後は他校同様に施設の適正管理に努める。
取組結果		改善策
常に施工者と情報を共有することができた。		新設校ならではの運用上の改善点について、注視していく。
事業名	事業内容	
【新】南流山中学校移転事業	南流山小学校区の児童数が令和6年度に大幅に増加することが見込まれるため、現南流山中学校を（仮称）南流山第二小学校として使用する。そのため、東洋学園大学旧校舎を中学校仕様へ改造して南流山中学校を移転開校するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	154,562 千円	A
現状と課題		評価理由
令和6年4月の開校に向けて実施設計の策定が必要である。		開校に向けた工程は予定通りに進めることができている。
取組と改善点		今後の課題
市民参加条例に基づいた、パブリックコメントの実施を経て、基本設計を策定した。		令和4年度からは、建築工事を予定しているため、遅滞なく工程を管理する。
取組結果		改善策
実施設計の策定に着手することができた。		関係者との十分な協議を適宜に実施する。

V 学校教育

V-2 教育環境の整備

事業名	事業内容	
【新】南流山中学校移転先 用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	231,157 千円	A
現状と課題		評価理由
流山市土地開発公社へ令和13年度まで分割で支払を行う。		計画のとおり執行した。
取組と改善点		今後の課題
特になし		特になし
取組結果		改善策
特になし		特になし
事業名	事業内容	
給食室等改修事業	給食施設について、経年劣化等により支障をきたしている箇所 の改修及び保健所等からの指摘・改善要望箇所に対応するもの。	
担当課	予算額	評価
学校施設課	9,059 千円	A
現状と課題		評価理由
長崎小学校給食室を建替える必要が生じた。八木北小学校校舎等建設事業に併せて、給食室の増築を実施する。		長崎小学校については、最新の児童生徒数推計値及び想定値において、供用開始年度が1年先送りとなった。 八木北小学校については、増築を完了した。
取組と改善点		今後の課題
令和4年度から供用開始が可能となるよう工程を管理する。		長崎小学校給食室建替工事は、予算を繰越して事業を完了させる。
取組結果		改善策
新型コロナウイルス感染症が影響した社会情勢の変化も影響し、長崎小学校給食室建替工事の入札が不調となった。		関係者との十分な協議を適宜に実施する。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
就学事務事業	市立小中学校に就学する児童生徒の一覧表の作成並びに健康診断通知書及び入学通知書を発送する。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	1,397 千円	A
現状と課題	評価理由	
児童生徒数が増加傾向であり、事務作業量の増大が見込まれる。	就学事務に係る手続きを遅延なく正確に行った。	
取組と改善点	今後の課題	
各種通知書発送を遅延なく実施した。	児童生徒数が増加傾向であるが、遅延なく執行する必要がある。	
取組結果	改善策	
就学時健康診断通知書 2,462件 小1入学通知書 2,367件 中1入学通知書 1,924件	今後も電算処理により、効率的かつ正確に通知を行う。	
事業名	事業内容	
小中学校学校教育運営事業	市内小中学校の教育環境の充実を図る。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	221,533 千円	A
現状と課題	評価理由	
特別な支援を必要とする児童・生徒の就学支援体制の充実を図る。	適正に処理されたことを確認した。特別支援学級に介添員を適正に配置し就学支援の充実が図られた。	
取組と改善点	今後の課題	
特別な支援の必要な児童生徒にきめ細かな対応ができるように介添員を各校的に配置した。	今後更に児童生徒数の増加が見込まれることから、更なる介添員の確保に努める必要がある。	
取組結果	改善策	
【介添員配置数】 小学校 89人 中学校 37人 計126人	特別支援学級を所管している指導課と連携を図り、各校へ適正に人員配置ができるよう財政部門に予算要求をしていく。	

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
小中学校学校教育施設管理 事業	備品の点検及び修繕を行い、教育環境の保持に努める。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	5,625 千円	A
現状と課題	評価理由	
教育環境保持のため、備品の点検及び修繕を効率的に行う。	教育環境保持のために、備品修繕を実施し、適正に備品管理を行う。	
取組と改善点	今後の課題	
前年度の各校の支出額から適正に予算を配当することで、効率的に備品修繕を行った。	楽器備品を中心に老朽化が増えている状況であるため、各校への配当予算を増加する必要がある。	
取組結果	改善策	
【修繕した備品件数】 小学校 54件 中学校 31件	各校の配当予算を増加できるよう財政部門への的確に要求していく。	
事業名	事業内容	
小中学校就学援助事業	経済的理由により就学困難な児童生徒について、学用品費等の援助を行う。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	115,990 千円	A
現状と課題	評価理由	
経済的困窮世帯の児童生徒が、安心して学校生活を送るため必要な家庭へ適正に就学援助を行う。	就学援助事務に係る手続きを遅延なく正確に行った。	
取組と改善点	今後の課題	
主たる生計者の収入減等の家庭へは、特別な基準で認定判断を行う。	社会情勢を把握し、必要な就学援助を行う。	
取組結果	改善策	
・小学校 575人 ・中学校 383人 ・特別支援教育就学奨励費 受給者数 270人	個別の家庭事情から認定判断を行う。	

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校保健検診事業	<p>児童生徒を対象に、眼科検診、耳鼻科検診、歯科検診、尿検査、その他の健康診断を実施する。</p> <p>教職員を対象に、胸部X線検査、胃疾患検診、尿検査、血液検査、心電図検査等を実施する。</p>	
担当課	予算額	評価
学校教育課	25,232 千円	A
現状と課題	評価理由	
<p>全ての児童生徒及び教職員が健康診断を受診する。未受診者が出ないように家庭や職員との連携を密にする。</p>	<p>児童生徒の長期欠席については長期休業中に健康診断を行うよう呼びかけ、実施した。</p> <p>教職員の出張や児童生徒の欠席等は養護教諭の呼びかけにより、他校を別日に健康診断を実施した。</p>	
取組と改善点	今後の課題	
<p>未受診者が出ないように学校行事や教職員の研修会等との日程を調整した。</p>	<p>健康診断を受診できなかった児童生徒には、期限を設定して受診の協力を要請する必要がある。</p> <p>教職員健康診断の日程調整は受診期間が設けられているため調整が難しい。また、職員の受診資格と受診可能項目を明確にし、新規採用職員等へ更に周知を徹底する必要がある。</p>	
取組結果	改善策	
<p>・児童生徒受診者数</p> <p>眼科 16,703人</p> <p>耳鼻科 16,581人</p> <p>歯科 16,701人</p> <p>尿検査 17,030人</p> <p>(在籍者数 17,104人)</p> <p>・教職員受診者数</p> <p>(受診者数/対象者数)</p> <p>胸部X線 (752人/787人)</p> <p>胃疾患 (250人/267人)</p> <p>尿検査 (717人/758人)</p> <p>血液検査 (291人/304人)</p> <p>心電図 (329人/343人)</p>	<p>健康診断を受診できずにいる児童生徒の保護者と連絡を密にとり、協力を呼び掛ける。</p> <p>教職員の健康診断の日程調整については市教委と各校の養護教諭が連絡をとり合い、養護教諭が窓口となって各校職員への周知を徹底する。</p>	

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校サポート看護師 派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置する。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するための看護師を配置する。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	24,769 千円	A
現状と課題		評価理由
医療的ケアを要する児童生徒に対し、学校や学校サポート看護師が医療的ケアを実施できるよう、ガイドラインを策定の上、対応する。		校外学習や出張等で養護教諭が不在の時に、保健室を開けられることは児童生徒にとって安心感を与えられた。医療的ケアを要する児童生徒に個別で補助することができた。
取組と改善点		今後の課題
策定したガイドラインに基づき、医療的ケアを実施した。		サポート看護師を要請する時期について、各校で重なることがあるため、派遣日等の調整を密に行う。
取組結果		改善策
小・中学校において病気や怪我をしている児童生徒の医療的な救急処置をはじめ、健康のチェックや個別に関わることが望ましい児童生徒の補助、生活習慣に関する援助・助言を中心に取組を実施した。		毎学期、サポート看護師の連絡会議を設け、取組や状況について報告を聞いている。市内の医療的なケアを要する児童生徒についてのサポート看護師を対象とした研修会を設定し、誰もが応急処置をできるようにしている。養護教諭が主体となって、サポート看護師との打ち合わせを綿密に行う。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
新型コロナウイルス感染症対策事業（学校教育課 保健衛生分）	新型コロナウイルス感染症対策として、必要な保健用物資を購入し、感染拡大防止に努める。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	29,495 千円	A
現状と課題	評価理由	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努める。	抗原検査キット等、新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健用物資を購入できた。	
取組と改善点	今後の課題	
抗原検査キットや消毒用アルコール等、保健用物資を購入する。	感染状況に応じ、適宜必要な保健用物資を購入する必要がある。	
取組結果	改善策	
【購入した主な保健用品】 ・抗原検査キット 511セット（1セット25個）	新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意し、保健用物資の購入に必要な予算を要求する。	
事業名	事業内容	
学校給食事務管理事業	児童生徒が学校給食を通じて健康で充実した生活を送ることができるよう、栄養士及び調理員に対して必要な研修や指導を行う。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	41,415 千円	A
現状と課題	評価理由	
栄養士及び調理員の知識の習得や技術の研さんに努める。	衛生講習会等グループ研修は中止となったが、研修で使用する予定であった資料を配付し自主研修に努めた。	
取組と改善点	今後の課題	
食中毒予防の観点から衛生管理の知識を深める衛生講習会、調理機器の取扱いについて学ぶ調理員研修会を実施する。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、各種研修の開催等を判断する。	
取組結果	改善策	
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種研修の開催及び参加を取りやめ自主研修を実施した。	衛生講習会等グループ研修の開催が難しい場合、自主研修等を実施する。	

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校給食施設管理事業	児童生徒に安全安心な学校給食を提供できるよう、給食設備の点検や清掃、害虫駆除等を実施するとともに、調理業務に必要な消耗品や備品等の整備をする。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	118,236 千円	A
現状と課題		評価理由
調理業務に必要な消耗品や備品等の整備をする。 給食設備の点検や清掃、修繕等を行う。 害虫駆除を実施し、衛生管理の徹底を図る。		適宜、必要な消耗品や備品の整備等をした。 また専門業者による給食設備の点検や清掃、修繕及び害虫駆除を実施した。
取組と改善点		今後の課題
消耗品や備品等の整備を行った。 給食設備の点検や清掃、修繕等を行った。 害虫駆除業務を専門業者に委託し、衛生管理の徹底を図った。		調理業務に必要な消耗品や備品等の整備を行う。 また給食設備の点検や清掃、害虫駆除等を実施して、安心安全な学校給食の提供と衛生管理の徹底に努める。
取組結果		改善策
学校給食調理業務に必要な消耗品や備品等の整備をした。 給食施設の点検・清掃等を専門業者に委託して実施した。 害虫駆除業務を専門業者に委託して、衛生環境の徹底に努めた。		給食設備の点検や清掃、害虫駆除等を夏季休業中等に実施できるよう、遅滞なく契約事務等を進める。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校給食調理業務民間委託事業	学校給食の調理業務民間委託について、計画的に進める。 また、新設校等の給食室の厨房機器の整備をする。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	447,129 千円	A
現状と課題		評価理由
調理業務民間委託 【新規】 江戸川台小学校、おおぐろの森中学校 【更新】 流山小学校、八木北小学校、東深井小学校、南流山小学校、八木中学校、南流山中学校 厨房機器賃貸借 八木北小学校、おおぐろの森中学校		計画に沿って入札を執行し、契約を締結した。
取組と改善点		今後の課題
仕様書の作成、調理業務委託業者の事前調査及び選定を実施した。		令和6年度開校予定の新設校含め、今後も計画に沿って調理業務民間委託を行う。
取組結果		改善策
入札を執行し、契約を締結する。		必要に応じて計画の見直し等を行い、遅滞なく調理業務の民間委託を進める。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校調理場備品整備事業	<p>児童生徒に安全安心な学校給食を提供できるよう、老朽化した給食室の厨房機器等の更新する。</p> <p>また、児童生徒数及びクラス数の増加に対応するため、配膳台等の整備を行う。</p>	
担当課	予算額	評価
学校教育課	43,000 千円	A
現状と課題		評価理由
<p>老朽化した厨房機器等の更新をする。</p> <p>児童生徒及びクラス数の増加に対応するため、配膳台等の整備をする。</p>		<p>更新計画、児童生徒及びクラス数の増加に応じて厨房機器等の整備を行った。</p>
取組と改善点		今後の課題
<p>更新計画に基づき厨房機器等の整備を行う。</p>		<p>更新計画に基づき厨房機器等の更新をしているが、突発的な故障等により変更が余儀なくされることがある。</p>
取組結果		改善策
<p>【更新した主な備品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転釜 13台 ・食器消毒保管庫 5台 ・シンク 3台 ・立体炊飯器 1台 ・フードスライサー 1台 ・冷蔵庫 5台 		<p>必要に応じて更新計画を見直す。</p>

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校給食食事環境整備事業	児童生徒に安全安心な学校給食を提供できるよう、耐用年数が経過した食器を計画的に更新するとともに、児童生徒数の増加に伴う食器を購入する。 また、令和4年度に開校するおおぐろの森中学校の消耗品の整備をする。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	16,000 千円	A
現状と課題	評価理由	
耐用年数が経過した食器を計画的に更新する。 児童生徒数の増加に伴う食器を購入する。 おおぐろの森中学校の消耗品の整備をする。	更新計画、児童生徒増に応じて食器の更新を行った。	
取組と改善点	今後の課題	
更新計画、児童生徒数の増加に応じて食器を購入する。	今後も更新計画に基づいて、また児童生徒数の増加に応じて食器の購入を行う。	
取組結果	改善策	
【更新した主な消耗品】 深皿、汁椀、飯椀、トレー 【更新した主な学校】 向小金小学校、北部中学校、西初石小学校	必要に応じて更新計画を見直す。	

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
学校給食公会計化事業	学校給食費を市で一括管理し、学校現場の負担軽減や保護者の利便性向上を図る。	
担当課	予算額	評価
学校教育課	926,509 千円	A
現状と課題		評価理由
給食費の算定を行う。 業者への支払いを遅滞なく行う。 未納者に対して督促を行う。		令和3年度分の学校給食費の徴収率は約99.45%、滞納繰越分の学校給食費の徴収率は約94.5%であった。
取組と改善点		今後の課題
新型コロナウイルス感染症により、学級閉鎖等が相次ぎ給食費の算定に係る業務が膨大となった。		電話連絡や自宅訪問等、連絡に応じない未納者に対する督促業務の強化に努める。
取組結果		改善策
電話等に応じない未納者に対して、児童手当からの徴収を行った。		学校との連携を密に行い、児童手当からの充当や法的措置等未納者対策を強化する。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
いじめ防止対策推進事業	スクールソーシャルワーカー等を配置し、いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行う。 また、いじめや不登校などの予防と対策のためにQU（学級集団アセスメント）を実施する。	
担当課	予算額	評価
指導課	23,260 千円	A
現状と課題		評価理由
令和3年度は4名のスクールソーシャルワーカーを配置した。 また、QUについては、対象を小学3年生から中学3年生に拡大し、年2回実施した。いじめの早期発見と、適切な初期対応の更なる徹底が課題である。		いじめの未然防止のために、スクールロイヤーが学校で職員研修や授業を実施した。 令和3年度は全ての学校で実施できた。
取組と改善点		今後の課題
スクールソーシャルワーカーが児童生徒の置かれた環境に応じて、関係機関と連携しながら対応した。 また、スクールロイヤーは、いじめ防止の職員研修や児童生徒向けのいじめ防止授業を実施した。 市内で発生した踏切事故の事故調査委員会からの報告書を受けて、事故の再発防止策を策定した。		市内全小中学校で継続していじめの未然防止や対応のための啓発を継続していく必要がある。 QUの有効な活用を更に徹底していく必要がある。
取組結果		改善策
令和3年度は、いじめ防止研修を全小中学校で実施した。また、小学校、中学校の全ての学校でスクールロイヤーによるいじめ防止授業を行った。		市内全小中学校でスクールロイヤーのいじめ防止授業や、QU、ストレスチェックの有効活用、市が策定したいじめの再発防止策に基づいて、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応を徹底していく。

V 学校教育

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

事業名	事業内容	
流山子ども専用いじめ ホットライン	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめ相談の早期発見・早期解決を図る。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOP it」を活用し、相談環境の充実に努める。	
担当課	予算額	評価
指導課	6,875 千円	A
現状と課題	評価理由	
令和3年度のいじめホットラインによる電話相談件数は15件である。 また、令和3年度の相談アプリ「STOP it」での相談件数は29件である。 利用件数の増加が課題である。	管理職や教職員に対して、各研修において、教育相談窓口の啓発に努めることができた。また、専門相談員による個別の相談が、相談者のいじめのなやみ解決につながっている。	
取組と改善点	今後の課題	
市内全中学校の1年生を対象に、「脱いじめ傍観者授業」の実施、各研修会で登録の増進を訴える等取り組んだ。 いじめ防止に関するリーフレット等を配付し、いじめの防止に努めた。	児童生徒のなやみは、いじめに限定されるものではないので、広く「なやみ」として相談を受ける必要がある。また、電話相談もアプリによる相談も、匿名による報告であるため、いかにスピード感をもって、解決に向けて対応していくかが課題である。	
取組結果	改善策	
「脱いじめ傍観者授業」を実施したことで、生徒はいじめ防止に対する意識を高めた。また、ホットラインやアプリ等の周知を図り、いじめに関する相談を受けることができた。	様々な機会を通して、アプリをはじめとした教育相談の窓口を周知させるとともに、報告があった際には関係機関と迅速につながり対応していく。	

5. 学識経験者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方2名を点検評価委員に委嘱した。以下は、点検評価委員からの意見である。

令和3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応対策に追われながらの教育行政の推進の年だったと思います。子どもたちをはじめとした市民の安全と健康を第一優先に日々奮闘対応されてきた教育行政や教育の現場に携わる皆様に、まずもって敬意を表します。

1 全体的な評価

今回所轄する事業104のうち、コロナ禍のため事業そのものが実施できなかった事業が3事業、B評価が3事業、他はすべてA評価であり、昨年度にも増して高い達成率です。関係各部署のたゆまない努力の成果であると当年度も高く評価します。B評価であった3事業の内、何らかのコロナ禍の影響を受けて完遂できなかった事業が2事業あります。さらに「指定等文化財保存活用整備事業」のようにB評価とはいえ、保存・修復方法の再検討を行ったために令和4年度に変更した事業もあります。B評価のこれら3事業はやむを得ない事由によるものと判断します。

一方、A評価であった事業についても、今後の課題を念頭にさらなる向上や充実を図るための対策や改善を着実に実行実現できるよう今後とも取り組むとともに、生涯学習をはじめとした各課の事業について、事業目的や意義、効果を十分に検討し、新規事業の立ち上げ、事業の継続や廃止に取り組んでください。

新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できなかった事業は昨年に比して少なくなりました。新型コロナウイルス感染症対策を講じ、創意工夫をしながら実施にこぎ着け、成果を得たものと評価します。

教育予算について、教育予算の確保に引き続き一層努めていただき

たいと思います。生涯学習や学校教育が充実し、人びとが住みたくなるような流山市にするために、教育予算の充実が何よりも欠かせません。教育予算確保に努めていただきますよう重ねてお願いいたします。

「生涯教育」においては、多様な生涯学習機会の充実を図るため、あらゆる年代に対応した事業展開がなされているものと評価します。流山市は2021年の調査で人口増加数全国1位、人口増加率でも3位となる全国有数の人口増の都市です。若い子育て世代が急増し、小中学校も新設され、若さと活気に満ちています。一方では、高齢世帯が多い地区もあります。「ゆうゆう大学」、「夏休み子ども教室」、「家庭教育事業」など、あらゆる年代に対応した支援事業の拡大や充実を今後とも期待します。

また、生涯学習の環境整備のため、老朽化した施設の整備や改修に今後も引き続き計画的・継続的に対応して行ってください。

文化芸術・歴史にかかるとは、昨年実施できなかった「美術活動支援事業」「文化祭開催事業」「市民音楽祭開催事業」が新型コロナウイルス感染症対策をしながら実施できたことを評価します。

スポーツにかかるとは、各事業ともに新型コロナウイルス感染症対策の創意工夫を図り、実施したことを評価します。

子ども・子育てにかかるとは、昨年実施できなかった「青少年主張大会運営事業」がA評価で実施できたことを評価します。「姉妹都市少年スポーツ交流事業」については引き続き事業の継続を図ってください。青少年の健全育成のための諸事業はニーズを捉え、的確に運営していることを評価します。

学校教育においては、「学校教育内容充実事業」や「情操教育推進事業」がB評価ですが、他の一連の事業が着実に実行されています。今後も「学びに向かう力と自立する子どもを育む」学校教育のさらなる充実のために、一つ一つの事業の見直しと改善を図り、魅力ある学校づくりを推進して行ってください。

学校教育環境の整備については、ICT環境整備の促進が課題です。

ICTの活用は、さらには生涯学習の場においても事業実施効果の高い大変有効なものです。ぜひ、学校教育環境の整備について引き続き研究推進して行ってください。

2 個別の事業ごとの評価

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

(1) 基盤・学習機会整備事業（生涯学習課）

昨年実施できなかった成人式式典が新型コロナウイルス感染症対策を講じて、2部形式で実施しています。新成人とともに丁寧に実施検討を重ねた結果の開催となったことを評価します。

成人式のあり方が問われています。従来の形式にとらわれることなく、成人式の意義を問い直しながら、新成人とともに作り出す実施計画を今後も立案して行ってください。

(2) 夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業（公民館）

昨年実施できなかった事業です。今回は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施にこぎつけました。今後も課題となっているスタッフの人員確保と学校施設の確保に努め、実施拡充を図ってください。

(3) 高校・大学等との連携による学習充実事業（公民館）

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業です。今後も新型コロナウイルス感染の影響のため、実施できないこともあるかもしれませんが、事業の趣旨を踏まえて、事業内容を検討しながら事業継続を図ってください。

(4) ライフステージに対応した学習充実事業（公民館）

「ゆうゆう大学」「子ども体験教室」等、新型コロナウイルス感染症対策をそれぞれ工夫し、実施にこぎ着けたことを評価します。

(5) 家庭教育事業（公民館）

子育て世代が多い当市においては、乳幼児を持つ親の交流の場、情報交換の場を設けることは子育て支援として非常に効果の高い事業です。特に乳幼児対象の講座はニーズの高い事業ですので、課題として指摘されているように、市民に周知を図り、より充実した事業として継続を図ってください。

(6) 図書館奉仕事業（図書館）

おはなし会と各種講座の参加者数が前年度比 394.2% というように非常に大幅な増加です。他に利用者数、貸出点数、宅配サービス

利用者数・貸出点数も大幅増加です。様々な工夫を凝らした取組を高く評価します。

(7) 図書館情報提供サービス事業（図書館）

昨年度引き続きスマートフォンによる情報提供サービス事業やインターネットによる予約数も前年度増です。こどものページのアクセス数が減少しています。原因を精査し、改善を図ってください。

I-2 生涯学習の環境整備

(1) おおたかの森図書館ピックアップサービス拡充事業（図書館）

新規事業です。計画どおり事業が順調に展開されていることを評価します。課題となっている予約資料の保管や、貸出までの時間については効率的な運営に努め、改善を図ってください。しかし、現状のスペースでは対応しきれなくなることも容易に推測されます。他の対応方法も検討してください。

II 文化芸術・歴史

II-1 市民主体の文化芸術活動の促進

(1) 美術活動支援事業・文化祭開催事業・市民音楽祭開催事業（生涯学習課）

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策として実施できなかった事業です。新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施できたことを評価します。次年度以降も実施充実を図ってください。

II-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

(1) 市民芸術劇場事業（生涯学習課）

新型コロナウイルス感染症対策のため実施できず残念です。次年度の継続を図ってください。

(2) 国際室内楽音楽祭共催事業（生涯学習課）

国際室内楽音楽祭は2年連続で中止になり残念です。次年度の開催に向け、準備をしていってください。

II-3 歴史的文化的遺産の保存・活用

(1) 指定等文化財保存活用整備事業（博物館）

「B」評価です。「秋元家住宅土蔵」について、保存・修復方法の再検討により保存修復工事は次年度に繰り越されたとのことでの

で、予算が当初予定より増加することが見込まれそうです。長き保存に耐え得るように予算を確保し、適切な保存修復工事を行うことが肝要です。

(2) 博物館活動事業（博物館）

課題となっている「これまでと違う活動・周知方法」の改善策としてあげているホームページ上の体験講座の活用やデジタルアーカイブの導入、SNSの活用など次年度以降の事業での導入に期待します。

Ⅲ スポーツ

Ⅲ-1 スポーツ活動の促進

(1) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業（スポーツ振興課）

オリンピック開催が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて1年延期になりました。

新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、実施できたことを評価します。

オリンピック後の交流を「継続した交流」として持続していくことが大切です。

(2) みんなのスポーツ活動推進事業の他、スポーツ関連事業（スポーツ振興課）

みんなのスポーツ活動推進事業の他、健康・体力づくり活動事業など、スポーツ振興にかかる推進事業については、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、「できること」、「できないこと」を峻別し、可能な範囲で実施できたことを評価します。

Ⅲ-2 スポーツ環境の整備

(1) 体育施設維持管理事業、体育施設備品等整備事業、体育施設改修・整備事業（スポーツ振興課）

各事業とも、計画どおり事業が実施できたことを評価します。

IV 子ども・子育て

IV-1 学童クラブの充実

(1) 学童クラブ施設整備事業（教育総務課）

新設小学校開校に伴い、学童クラブを整備する必要があります。遅滞なく開設できるよう事業を確実に実施してください。

IV-2 青少年の健全育成の促進

(1) 青少年主張大会運営事業（生涯学習課）

昨年中止となった大会です。高校の参加がなかったのが残念です。息の長い大会として次年度以降も市内の高等学校とも連携し、実施して行ってください。

(2) 姉妹都市少年スポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響のため、実施できなかったことを残念に思います。姉妹都市との交流事業は地に足のついた交流が大切です。事業の意義を再確認し、市民に周知しながら交流事業の継続を図ってください。

(3) 青少年相談事業（生涯学習課）

青少年相談体制の充実を図ることは、不登校やいじめ防止など、教育現場が抱える課題解決の一助として大変重要です。今後とも、相談体制の整備と強化、充実を図ってください。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

(1) 入学準備金貸付事業（教育総務課）

制度の周知に苦心していることがわかります。本制度への問合せはあったものの利用件数はゼロでした。高等学校や専修学校への入学準備金の調達が困難な保護者に対する支援制度です。課題解決のための改善策にあるように保護者の要望をすくい上げ、より充実した制度となるよう制度改正や、他の制度への転換も視野に入れ、改善を図ってください。

(2) 学校サポート教員派遣研究事業（指導課）

学校サポート教員（学習サポート教員、指導員、算数数学学習指導員）派遣事業は順調に成果を上げています。今後ますます需要

が高まるものと考えます。それぞれの学校現場のニーズに応えた制度として一層の充実を図ってください。

(3) 教育指導人材充実事業（指導課）

学習等の学校支援につながる優れた地域人材の活用を図った事業です。今後も学校のニーズに沿って効果的な活用を図ってください。

(4) 地域による学校支援事業（指導課）

地域の力を学校教育に生かしていくことはこれからの学校教育において極めて効果的です。学校支援コーディネーターを中心に地域連携活動を展開し、地域と学校それぞれのニーズと課題を把握し、活動の充実を図ってください。

(5) 小学校教育指導運営事業及び中学校教育指導運営事業（指導課）

学校図書館の充実を図って、学校図書館司書を配置する事業を推進していることを高く評価します。今後も学校図書館司書の活用を推進し、2校1名の配置をさらに進め1校1名の配置を目指していただきます。早期に実現することを期待します。

(6) 学校教育内容充実事業（指導課）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験学習や音楽発表会等が中止となり残念です。今後も継続的に実施するとともに、実施内容を精選し、充実を図ってください。

(7) 情操教育推進事業（指導課）

「B」評価。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった学校があったために「B」評価となったようです。観劇6校、音楽鑑賞11校で実施し、いずれも児童生徒に感動を与える取組となったようです。次年度は全校で実施できるよう取り組んでください。

(8) ICT学習空間整備事業（指導課）

校内無線LAN環境の整備とタブレット端末をすべての児童生徒に配布できたことを評価します。今後はハード面の整備や保守点検とともに指導できる教員の育成やスキルアップが課題です。民間企業との連携協力を得ながら、GIGAスクール構想の実現に向け、精力的に取り組んでください。

(9) 特別支援教育推進事業（指導課）

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進は今後も最

重要課題です。

今後も就学相談支援体制を一層充実させるために、担当者の専門性と指導力向上のための取組の充実を図ってください。

(10) 教育研究企画室運営管理事業

相談対応を一層充実させるためにスクールカウンセラーの勤務日数を30日分増やすなど、相談体制の強化にあたっている点を評価します。また、不登校児童生徒の支援充実を図り、教育支援センターの整備として、新たに「フレンドステーションしんかわ」の開設計画を進める点も高く評価します。不登校児童生徒を流山市内から一人でも多く減らすよう今後も支援体制の充実強化を図ってください。

V-2 教育環境の整備

教育環境整備に係る諸事業はすべて計画どおり事業が実施されていることを評価します。今後も遅滞なく教育環境整備に尽力してください。

V-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

15の事業すべて、適切に実施されているものと判断します。

(1) いじめ防止対策推進事業（指導課）

昨年度「B」評価の事業。スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤーの配置や活用はいじめや不登校、児童虐待といった今日の学校教育が抱える課題を解決する手段として非常に有効です。スクールロイヤーによる職員研修や授業が実施できたことを評価します。いじめの起きにくい学級集団を作っていくことは学級担任ならば誰もが願うことです。せっきくQUを導入実施しても、それを生かすも無にするも教職員の技量と感性が問われます。不断の研修を通して技量を磨き、意識改革を図っていくしかありません。息の長い事業となることを願っています。

(2) 流山こども専用いじめホットライン（指導課）

いじめ防止対策推進事業のひとつとして継続している事業です。スマートフォンやパソコンからのいじめ報告や相談が簡単にできるアプリの登録数も少しずつ増加しているようです。今後も周知方法を工夫改善しながら相談体制を強化してください。「脱いじめ傍観者

授業」の実施で生徒のいじめ防止意識も向上したと思います。今後も創意工夫を凝らした様々な取組を行い、いじめ防止対策を強化推進していただきます。いじめ相談は様々な相談チャンネルを複線的に整えることによって早期発見、早期対応が可能になります。いじめ問題だけではなく、学校生活に関する相談や虐待の相談等にも活用できる取組です。現場の教職員の方々も、児童生徒から発せられる様々なシグナルを見逃さずキャッチできる感性を磨いていただきます。

3 評価表の形式や表現について

評価表について、A 3 判から A 4 判に変更されましたが、大変見やすく感じました。また大変扱いやすいものとなりました。

点検評価委員 千田 茂夫

1 全体的な評価

(1) 令和 3 年度は、前年度から続く厳しいコロナ禍において第 2 期流山市教育振興基本計画に掲げる教育活動を滞ることなく実施し、主要事業 104 の内「A」評価が 98 事業、「B」評価が 3 事業、「評価に該当しない」に至ってはわずか 3 事業という、とても高い目標達成率を示した結果の自己評価であった。

その根拠には本報告書の個表に、事業実施に当たっての様々な工夫や取り組みなど努力の足跡が随所に表れていた。このモチベーションを維持して次年度以降の教育活動につながっていくことを期待する。

(2) 生涯学習においては、ゆうゆう大学のネット配信、家庭教育講座の YouTube 配信、電子書籍の増加、ロードレース大会のオンライン開催、青少年主張大会のライブ配信など ICT 化への取り組みが顕著であった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従来の学習形態や活動形態の変更を強いられた側面があったとして

も、大きな業績として高く評価する。

今回のアクションを ICT 化への萌芽期と捉え、平時においても積極的に ICT を活用した事業展開を推進されたい。

- (3) 学校教育においては、小山小学校区第 5 おおたかの森ルームの整備、八木北小学校校舎等の増築、おおぐろの森小学校の外構工事、新設小学校及び南流山中学校移転に係る基本設計の策定、南流山中学校移転先用地・建物の買取など、多数の一連の大事業を所管し大量の業務を概ね順調に遂行させた業績を、先ずは大いに評価する。

今後の（仮称）市野谷小学校・（仮称）南流山第二小学校整備、南流山中学校の移転整備及び新設小学校 2 校への学童クラブの整備については、新型コロナウイルス感染症の影響はもとより世界情勢の悪化や物価の高騰などから事業費への影響が充分見込まれるため、期限のある建設工事に支障を来さないよう財源確保を共有した組織マネジメントを発揮して、予定事業を完遂させていきたい。

2 個別の事業ごとの評価

I 生涯学習

I-1 多様な生涯学習機会の充実

(1) 基盤・学習機会整備事業

コロナの影響により、式典を 2 回に分けて開催し盛況の内に終了したことは理解したが、参加者の反響はどのようなものであったか、その点の記載が欲しかった。

(2) 図書館奉仕事業

レファレンスサービス（調べもの相談）は、公立図書館の強みと言える特徴あるサービスでホームページ上でも展開しているもので、現在まで自己評価の形跡もなく残念である。当該事業の一部であり、重要な指標の一つでもあるため、次回からは是非加えていただきたい。

I - 2 生涯学習の環境整備

(1) 東部公民館施設整備改修事業

外壁レンガの一部剥落を放置せず、速やかに改修工事を実施した点を高く評価したい。新型コロナウイルス感染症前では年間 5 万人を超える不特定多数の方が利用する施設なので、特殊建築物等定期調査での指摘箇所に対しては本件と同様に、利用者の安全を第一に建物及び設備の改善、改修に取り組まれない。

II 文化芸術・歴史

II - 2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

(1) サロンコンサート開催事業

事業の発祥地である市役所ロビーは、手狭で運営面において大変苦慮されていることが窺える。この会場に固執せず、市内を巡回して多くの市民に生演奏の音楽を届けるというスタイルに修正して、事業効果をさらに高めていただくことを提案したい。

II - 3 歴史的文化的遺産保存・活用

(1) 博物館活動事業

博物館（博物館の関連施設も含む）の入館者を増やす呼び水として、ホームページ上に PR 動画の導入を検討されたい。

III スポーツ

III - 1 スポーツ活動の促進

(1) みんなのスポーツ活動推進事業

主要事業のコミュニティフェスティバルが中止になったことから判断すると、「A」評価が適当なのか、再度点検されたい。

(2) スポーツ講習会・大会開催事業

流山ロードレース大会のオンライン形式で開催した点を評価する。残念なのはその努力の証として参加者の反響はどのようなものであったか、振り返りが欲しかった。

III - 2 スポーツ環境の整備

(1) 体育施設維持管理事業

施設の維持管理費（体育施設備品等整備事業含む）のコスト面や

他のスポーツ施設との使用料格差から判断すると、「公共施設の使用料設定に当たっての基本方針」に基づき有料化へ移行した、安定的で効率的な管理スタイルが望まれる。

(2) 体育施設改修・整備事業

総合運動公園野球場に観覧席等が整備される予定だが、運用開始に当たっては施設機能の向上に伴う利用拡大や指定管理者の管理施設という特性から考え、観覧席の使用料を新設するか、あるいは現行の野球場使用料を増額するなどの検討が望まれる。

IV 子ども・子育て

IV-2 青少年の健全育成の促進

(1) 青少年主張大会運営事業

中学生の発表では、県及び国の大会で優秀な成績を収めている実績のある事業なので、大勢の一般市民を来場者に取り込むためにも、休日開催を検討されたい。

(2) げんき村キャンプ場運営管理事業

近年のキャンプブームや総合運動公園バーベキュー場のオープンなどから鑑みると、公の施設に整理した管理体制への移行が望まれる。

V 学校教育

V-1 豊かな学びを支える教育内容の充実

(1) 教育指導人材充実事業・地域による学校支援事業・流山市部活動支援事業・情操教育事業

これら一連の事業については、生涯学習部が有する社会教育登録人材やノウハウを活用して学社連携・学社融合の一層の強化のもと、事業の拡大や充実を図られたい。

(2) 小学校教育指導運営事業・中学校教育指導運営事業

児童と生徒では読書環境も異なるのが当然と考えられるが、自己評価はほぼ同じという粗いものになっている。再度点検の上、見直されたい。

V-2 教育環境の整備

(1) 給食室等改修事業

主要事業の長崎小学校給食室立替工事の入札が不調になり、事業を次年度に繰越したことを考えると、「A」評価が適当なのか、再度点検されたい。

V-3 児童・生徒の安全確保と健康管理

(1) 流山市子ども専用いじめホットライン

児童・生徒にとっては簡便な相談（SOS）ツールなので、「早期発見」「早期対応」「早期解決」に向けて、専用ホットライン利用の一層の周知に取り組み、いじめの実相把握に近づけていただきたい。

3 評価表の形式や表現について

特になし。

点検評価委員 戸部 孝彰